



診療科の特色

肝疾患高度専門医療施設：高度総合医療施設としての長崎医療センターでは、肝臓内科、肝臓外科、放射線部、病理部、救命救急センター等、関係各部署と密接に連携をとりながら、肝疾患分野での高度の専門的診療を行っています。また、多くの治験を行い、肝疾患治療薬の開発に貢献しています。

臨床研究センター：国が推進すべき政策医療の一つである肝疾患の分野での先駆的な医療や難治性の疾病等に関する診断、治療技術の機能強化を図る目的で2002年に臨床研究センターが設置されました。組織としては、治療研究部、難治性疾患研究部、病因解析研究部、外科治療研究部、機能形態研究部の5つの研究部、14の研究室から構成されています。各研究部は専任研究部長と室長および研究員が配置され、それぞれ連携を保ちながら研究を行っています。

また、2004年に国立病院から国立病院機構へと病院組織の変更に伴い、臨床研究センターは上記のような肝疾患だけではなく、リウマチなどの自己免疫性疾患、国際甲状腺病理、肝がんの外科および血管造影下治療、創傷治癒などの形成外科治療、てんかんの脳外科治療、国際医療協力、等も主たる研究テーマとして臨床研究を展開しています。

NHO肝疾患共同研究ネットワーク：国立病院機構肝疾患ネットワークのグループリーダーとして、ウイルス肝炎・肝癌、肝疾患難病に関して、参加施設から収集した情報、試料を解析して、EBMのためのエビデンスを作るべく研究を推進しています。

厚生労働省肝疾患研究班：厚生労働省科学研究費補助金により研究班を組織し、全国の研究者とともに、国が推進する肝疾患政策を支える研究を行っています。文科省・学術振興会科学研究費も獲得して、基礎的な研究も行っていきます。

長崎大学大学院（連携講座）：平成16年度より長崎大学大学院医歯薬学総合研究科新興感染症病態制御学専攻「肝臓病学講座」として連携講座の役割を担っており、平成30年1月現在、5名の教員（教授4名、准教授1名）が16名（13名卒業）の大学院生の教育にあたっています。

肝疾患診療連携拠点病院：平成19年8月に、全国に先駆けて長崎県の肝疾患診療連携拠点病院としての指定を受けました。長崎県における拠点病院として、県内の肝疾患診療施設と連携してウイルス肝炎・肝癌を中心とした肝疾患の診療、診療支援、医療相談、情報発信を実施するとともに、肝疾患患者の相談に応じています。

研修・教育

カンファレンス

名称	参加職種	参加人数（平均）	実施回数
臨床研究センター 運営委員会	部長、室長	12	1回/月
リサーチカンファランス	医師、研究員	15	1回/週
病理検討会	医師	15	1回/週
臨床研究実践セミナー	全職員	70	6回/年
院内臨床研究発表会	全職員	30	3回/年

競争的資金獲得状況

○厚生労働省 科学研究費補助金

No.	区分	代表分担	研究代表者	分担者	研究事業名	研究課題名
1	新	代表	八橋 弘	八橋 弘	肝炎等克服政策研究事業	肝炎ウイルス感染者の偏見や差別による被害防止への効果的な手法の確立に関する研究 (H29-肝政-指定-05)
2	新	分担	江口有一郎	八橋 弘	肝炎等克服政策研究事業	肝炎ウイルス検査受検から受診、受療に至る肝炎対策の効果検証と拡充に関する研究 (H29-肝政-指定-003)
3	継	分担	山口 照英	八橋 弘	医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業	C型肝炎救済のための調査研究及び安全対策等に関する研究 (H27-医薬-指定-012)
4	継	分担	江口 晋	八橋 弘	エイズ対策政策研究事業	血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移植に関する研究 (H27-エイズ-指定-003)
5	継	分担	大石 和徳	山崎 一美	新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業	成人の侵襲性細菌感染症サーベイランスの構築に関する研究 (H28-新興行政-一般-005)
6	継	分担	田中 純子	山崎 一美	肝炎等克服政策研究事業	肝炎ウイルス感染状況と感染後の長期経過に関する研究 (H28-肝政-一般-001)
7	新	協力	白阪 琢磨	八橋 弘	友愛調査研究事業 (HIV感染血友病患者)	エイズ発症予防に資するための血液製剤によるHIV感染者の調査研究事業
8	新	協力	滝川 一	小森 敦正	難治性疾患等克服研究事業 (難治性疾患性策研究事業)	難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究 (H29-難治等 (難治)-一般-038)
9	新	協力	滝川 一	中村 稔	難治性疾患等克服研究事業 (難治性疾患性策研究事業)	難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究 (H29-難治等 (難治)-一般-038)

○国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）研究費

No.	区分	代表分担	研究代表者	分担者	研究事業名	研究課題名
1	新	代表	八橋 弘	八橋 弘	感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 肝炎等克服緊急対策研究事業	肝硬変患者の予後を含めた実態を把握するための研究
2	継	代表	黒木 保	黒木 保	免疫アレルギー疾患等実用化研究事業 移植医療技術開発研究分野	安全かつ有効な膵島細胞/間葉系幹細胞複合シートの皮下パッチ技術の開発
3	継	分担	岡本 宏明	八橋 弘	感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 肝炎等克服緊急対策研究事業	経口感染によるウイルス性肝炎（A型及びE型）の感染防止、病態解明、治療等に関する研究
4	継	分担	田中 榮司	八橋 弘	感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 肝炎等克服緊急対策研究事業	Drug freeからHBs抗原消失を目指すB型肝炎抗ウイルス療法とこの効果を予測する新規因子の検討
5	継	分担	田中 靖人	小森 敦正	感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 肝炎等克服緊急対策研究事業	C型肝炎の新たな治療関連因子及び治癒後の病態進展・改善に関連する宿主因子等の同定を目指したゲノムワイド研究
6	継	分担	田中 篤	小森 敦正	難治性疾患実用化研究事業	難治性の肝・胆道疾患に対する治療介入の有効性についてのエビデンス作成のための研究
7	新	分担	須磨崎 亮	山崎 一美	感染症実用化研究事業	HBs抗原消失のバイオマーカー探索と新規HBワクチンの開発
8	継	分担	溝上 雅史	山崎 一美	肝炎等克服実用化研究事業	B型肝炎ウイルス再活性化に関与するウイルス・宿主要因の解明に基づく予防対策法の確立を目指す研究

○日本学術振興会 科学研究費補助金

No.	区分	代表分担	研究代表者	分担者	研究事業名	研究課題名
1	新	代表	寶來 吉朗	寶來 吉朗	若手（B）	LncRNAが制御するシェーグレン症候群における唾液腺障害の病態解明
2	新	代表	相葉 佳洋	相葉 佳洋	基盤（C）一般	原発性胆汁性胆管炎の肝不全進行におけるカテプシンZの役割の解明
3	継	代表	伊東 正博	伊東 正博	基盤（C）一般	放射線誘発甲状腺がんの発症機序の解明
4	継	代表	黒木 保	黒木 保	基盤（C）	一人手術を目指した装着型筋活動センサによる内視鏡下手術支援器具の開発
5	継	代表	中村 稔	中村 稔	基盤（B）一般	原発性胆汁性胆管炎の発症と重症化機構解明のためのGWASを基盤とした統合解析
6	継	代表	山本 和子	山本 和子	若手（B）	自然免疫応答は人工呼吸器関連肺炎の予後を左右するか？
7	新	分担	下田 慎治	中村 稔	基盤（B）一般	原発性胆汁性胆管炎模倣培養系からのゲノム・脂質情報を利用した新規治療法の開発
8	継	分担	安波 道郎	右田 清志	基盤（B）	HLA多型が規定する血液細胞の表現型分析による感染・免疫関連疾患発症リスクの予測

○NHO ネットワーク共同研究費

No.	区分	代表分担	研究代表者	分担者	研究事業名	研究課題名
1	新	代表	右田 清志	右田 清志	肝疾患	日本人自己免疫性肝炎（AIH）に関する分子疫学研究と分子標的療法の確立
2	新	代表	山崎 一美	山崎 一美	肝疾患	薬物性肝障害および急性発症型自己免疫性肝炎を含む急性肝炎の発生状況および重症化、劇症化に関する因子に関する研究
3	新	協力	山崎 一美	八橋 弘	肝疾患	薬物性肝障害および急性発症型自己免疫性肝炎を含む急性肝炎の発生状況および重症化、劇症化に関する因子に関する研究
4	新	責任	西村理恵子	伊東 正博	がん（一般）	細胞診検体を用いた乳癌薬物療法適応決定のための基礎研究
5	新	協力	西村理恵子	前田 茂人	がん（一般）	細胞診検体を用いた乳癌薬物療法適応決定のための基礎研究
6	新	責任	市原 周	伊東 正博	多施設共同研究	国立病院機構における遠隔乳腺病理診断ネットワーク構築
7	継	協力	星田 義彦	寶來 吉朗	多施設共同研究	メトトレキサート（MTX）関連リンパ増殖性疾患の病態解明のための多施設共同研究
8	継	代表	八橋 弘	八橋 弘	肝疾患	C型肝炎ウイルス駆除後の肝発癌予測に関する研究
9	継	協力	八橋 弘	山崎 一美	肝疾患	C型肝炎ウイルス駆除後の肝発癌予測に関する研究
10	継	代表	中村 稔	中村 稔	肝疾患	原発性胆汁性肝硬変の発症と重症化機構の解明のための多施設共同研究
11	継	責任	當間 重人	右田 清志	免疫異常	関節リウマチ関連間質性肺病変の自己抗体バイオマーカーの探索
12	継	責任	寺本 典弘	伊東 正博	多施設共同研究	病理診断支援システムの機能と病理部門インシデントの関係を調査する前向き登録研究
13	継	協力	青儀健二郎	前田 茂人	がん（一般）	多施設共同抗がん薬曝露実態調査と医療従事者の安全確保のための「Hazardous Drugsの安全な取り扱い」の概念構築

○その他財団

No.	区分	代表分担	研究代表者	分担者	研究事業名	研究課題名
1	新		伊東 正博	伊東 正博	平成29年度「放射線災害・医学研究拠点」共同利用・共同研究	チェルノブイリ周辺地域と本邦の自然発症性甲状腺癌の病理組織学的検討
2	新		伊東 正博	伊東 正博	タケダ・リサーチサポート	若年者の放射線被曝による甲状腺発がん分子機構の解明
3	継		伊東 正博	伊東 正博	長崎県医師会	腫瘍組織登録の標準化

○特許及び受賞

- ・【特許取得】：外科手術用糸輸送器
 （特許第6235121号；江口 晋、黒木 保、小坂太郎、石松隆和、諸麥俊司。
 国立大学法人長崎大学，登録日：2017年11月2日）
- ・【特許取得】：原発性胆汁性肝硬変の発症リスク予測マーカー、プローブ、プライマー及びキット並びに原発性胆汁性肝硬変の発症リスク予測方法
 （特許第6245796号；中村 稔。
 公益財団法人ヒューマンサイエンス振興財団，登録日：2017年11月24日）

学会・論文など

1) 論文

	原著	症例報告	総説・(Abstract)	著書	その他
英文	36	11	0 (2)	0	0
和文	5	3	10	9	2
計	40	14	9 (2)	9	2

2) 学会・研究会

	特別・教育・招待講演	シンポジウム、パネルディスカッション	一般演題	研究会発表
国際	2	4	24	0
国内	3	19	99	26
計	5	21	119	28

3) 学術講演

種類	国際	国内
件数	2	56

4) 学会・研究会開催・座長

	座長
国際	5
国内	43
計	49

研究業績

原 著 論 文

A：英文

※筆頭者alphabet順

A-a1：英文原著（36）

- 1) Novel Application of Cultured Epithelial Autografts (CEA) with Expanded Mesh Skin Grafting Over an Artificial Dermis or Dermal Wound Bed Preparation.

Akita S, Hayashida K, Yoshimoto H, Fujioka M, Senju C, Morooka S, Nishimura G, Mukae N, Kobayashi K, Anraku K, Murakami R, Hirano A, Oishi M, Ikenoya S, Amano N, Nakagawa H. Nagasaki University plastic surgeons group.

Int J Mol Sci. 2017 Dec 25 ; 19(1). pii : E57. doi : 10.3390/ijms19010057.

- 2) Comparative histopathological analysis of sporadic pediatric papillary thyroid carcinoma from Japan and Ukraine.

Bogdanova TI, Saenko VA, Hirokawa M, Ito M, Zurnadzhy LY, Hayashi T, Rogounovitch TI, Miyauchi A, Tronko MD, Yamashita S.

Endocr J. 2017 Oct 28 ; 64(10) : 977-993.

- 3) In vivo construction of liver tissue by implantation of a hepatic non-parenchymal/adipose-derived stem cell sheet.
Fujii M, Yamanouchi K, Sakai Y, Baimakhanov Z, Yamaguchi I, Soyama A, Hidaka M, Takatsuki M, Kuroki T, Eguchi S.
J Tissue Eng Regen Med. 2017 Jan 21. doi : 10.1002/term.2424. [Epub ahead of print]
- 4) Venous superdrained gastric tube pull-up procedure for hypopharyngeal and cervical esophageal reconstruction reduces postoperative anastomotic leakage and stricture.
Fujioka M, Hayashida K, Fukui K, Ishiyama S, Saijo H, Taniguchi K.
Dis Esophagus. 2017 Aug 1 ; 30(8) : 1-6.
- 5) Palliative surgery for the ulcer of advanced breast cancer.
Fujioka M, Fukui K, Ishiyama S, Hayashida K, Saijou H.
European Journal of Palliative Care 2017 ; 24(2) : 86-89.
- 6) Adipose-Derived Stem Cells and Vascularized Lymph Node Transfers Successfully Treat Mouse Hindlimb Secondary Lymphedema by Early Reconnection of the Lymphatic System and Lymphangiogenesis.
Hayashida K, Yoshida S, Fujioka M, Saijo H, Migita K, Akita K.
Plast Reconstr Surg. 2017 Mar ; 139(3) : 639-651.
- 7) Association of a single nucleotide polymorphism upstream of ICOS with Japanese autoimmune hepatitis type 1.
Higuchi T, Oka S, Furukawa H, Nakamura M, Komori A, Abiru S, Nagaoka 4, Hashimoto S, Naganuma A, Naeshiro N, Yoshizawa K, Shimada M, Nishimura H, Tomizawa M, Kikuchi M, Makita F, Yamashita H, Ario K, Yatsushashi H, Tohma S, Kawasaki A, Ohira H, Tsuchiya N, Migita K.
J Hum Genet. 2017 Apr ; 62(4) : 481-484.
- 8) Identification of the functional variant driving ORMDL3 and GSDMB expression in human chromosome 17q12-21 in primary biliary cholangitis.
Hitomi Y, Kojima K, Kawashima M, Kawai Y, Nishida N, Aiba Y, Yasunami M, Nagasaki M, Nakamura M, Tokunaga K.
Sci Rep. 2017 Jun 6 ; 7(1) : 2904.
- 9) A Modified Method for Purifying Gallbladder Epithelial Cells Using Fluorescence-activated Cell Sorting.
Imamura H, Adachi T, Kitasato A, Sakai Y, Ono S, Hara T, Natsuda K, Soyama A, Hidaka M, Takatsuki M, Kuroki T, Eguchi S.
In Vivo. 2017 Mar-Apr ; 31(2) : 169-173.
- 10) Safety and efficacy of postoperative pharmacologic thromboprophylaxis with enoxaparin after pancreatic surgery.
Imamura H, Adachi T, Kitasato A, Tanaka T, Soyama A, Hidaka M, Fujita F, Takatsuki M, Kuroki T, Eguchi S.
Surg Today. 2017 Aug ; 47(8) : 994-1000.

- 11) A Donor Age-Based and Graft Volume-Based Analysis for Living Donor Liver Transplantation in Elderly Recipients.
Imamura H, Hidaka M, Soyama A, Kitasato A, Adachi T, Ono S, Natsuda K, Hara T, Kugiyama T, Baimakhanov Z, Okada S, Fujita F, Kanetaka K, Takatsuki M, Kuroki T, Eguchi S.
Transplant Direct. 2017 Jun 6 ; 3(7) : e168. eCollection 2017 Jul.
- 12) Improvement of Anal Function by Adipose-Derived Stem Cell Sheets.
Inoue Y, Fujita F, Yamaguchi I, Kinoe H, Kawahara D, Sakai Y, Kuroki T, Eguchi S.
Dig Surg. 2017 May 12. doi : 10.1159/000475475. [Epub ahead of print]
- 13) Efficacy and safety at 24 weeks of daily clinical use of tofacitinib in patients with rheumatoid arthritis.
Iwamoto N, Tsuji S, Takatani A, Shimizu T, Fukui S, Umeda M, Nishino A, Horai Y, Koga T, Kawashiri SY, Aramaki T, Ichinose K, Hirai Y, Tamai M, Nakamura H, Terada K, Origuchi T, Eguchi K, Ueki Y, Kawakami A.
PLoS One. 2017 May 4 ; 12(5) : e0177057.
- 14) Risk factors of adverse events during treatment in elderly patients with rheumatoid arthritis : an observational study.
Iwanaga N, Arima K, Terada K, Ueki Y, Horai Y, Suzuki T, Nakashima Y, Kawashiri SY, Ichinose K, Tamai M, Nakamura H, Aoyagi K, Kawakami A, Origuchi T.
Int J Rheum Dis. 2017 Mar ; 20(3) : 346-352. doi : 10.1111/1756-185X.12348.
Epub 2014 Apr 10.
- 15) Clinical Improvement by Switching to an Integrase Strand Transfer Inhibitor in Hemophilic Patients with HIV : The Japan Cohort Study of HIV Patients Infected through Blood Products.
Kawado M, Hashimoto S, Oka SI, Fukutake K, Higasa S, Yatsushashi H, Ogane M, Okamoto M, Shirasaka T.
Open AIDS J. 2017 Apr 26 ; 11 : 18-23. doi : 10.2174/1874613601711010018. eCollection 2017.
- 16) Genome-wide association studies identify PRKCB as a novel genetic susceptibility locus for primary biliary cholangitis in the Japanese population.
Kawashima M, Hitomi Y, Aiba Y, Nishida N, Kojima K, Kawai Y, Nakamura H, Tanaka A, Zeniya M, Hashimoto E, Ohira H, Yamamoto K, Abe M, Nakao K, Yamagiwa S, Kaneko S, Honda M, Umemura T, Ichida T, Seike M, Sakisaka S, Harada M, Yokosuka O, Ueno Y, Senju M, Kanda T, Shibata H, Himoto T, Murata K, Miyake Y, Ebinuma H, Taniai M, Joshita S, Nikami T, Ota H, Kouno H, Kouno H, Nakamura M, Fukushima N, Kohjima M, Komatsu T, Komeda T, Ohara Y, Muro T, Yamashita T, Yoshizawa K, Nakamura Y, Shimada M, Hirashima N, Sugi K, Ario K, Takesaki E, Naganuma A, Mano H, Yamashita H, Matsushita K, Yamauchi K, Makita F, Nishimura H, Furuta K, Takahashi N, Kikuchi M, Masaki N, Tanaka T, Tamura S, Mori A, Yagi S, Shirabe K, Komori A, Migita K, Ito M, Nagaoka S, Abiru S, Yatsushashi H, Yasunami M, Shimoda S, Harada K, Egawa H, Maehara Y, Uemoto S, Kokudo N, Takikawa H, Ishibashi H, Chayama K, Mizokami M, Nagasaki M, Tokunaga K, Nakamura M.
Hum Mol Genet. 2017 Feb 1 ; 26(3) : 650-659. doi : 10.1093/hmg/ddw406.

- 17) Successful treatment of palmoplantar pustulosis with rheumatoid arthritis, with tofacitinib : Impact of this JAK inhibitor on T-cell differentiation.
Koga T, Sato T, Umeda M, Fukui S, Horai Y, Kawashiri SY, Iwamoto N, Ichinose K, Nakamura H, Kawakami A.
Clin Immunol. 2016 Dec ; 173 : 147-148. (2016年業績登録漏れ)
- 18) Anti-citrullinated peptide antibodies are the strongest predictor of clinically relevant radiographic progression in rheumatoid arthritis patients achieving remission or low disease activity : A post hoc analysis of a nationwide cohort in Japan.
Koga T, Okada A, Fukuda T, Hidaka T, Ishii T, Ueki Y, Kodera T, Nakashima M, Takahashi Y, Honda S, Horai Y, Watanabe R, Okuno H, Aramaki T, Izumiyama T, Takai O, Miyashita T, Sato S, Kawashiri SY, Iwamoto N, Ichinose K, Tamai M, Origuchi T, Nakamura H, Aoyagi K, Eguchi K, Kawakami A ; Japanese RA Patients with RRP Study Group.
PLoS One. 2017 May 15 ; 12(5) : e0175281.
- 19) Adherence to Adjuvant Endocrine Therapy in Women With Breast Cancer : A Prospective Observational Study in Japanese Women.
Kuba S, Maeda S, Matsumoto M, Yamanouchi K, Yano H, Morita M, Sakimura C, Hatachi T, Tokai Y, Takatsuki M, Fujioka H, Hayashida N, Nagayasu T, Eguchi S.
Clin Breast Cancer. 2017 Dec 12. pii : S1526-8209(17)30626-2. doi : 10.1016/j.clbc.2017.12.003. [Epub ahead of print]
- 20) No-touch isolation techniques for pancreatic cancer.
Kuroki T, Eguchi S.
Surg Today. 2017 Jan ; 47(1) : 8-13.
- 21) Anti-transcription intermediary factor1 γ -antibody positive dermatomyositis complicated by dysphagia.
Kurushima S, Horai Y, Umeda M and Kawakami A.
Intern Med. 2017 Nov 1 ; 56(21) : 2965-2966.
- 22) Efficacy and safety of eribulin as first- to third-line treatment in patients with advanced or metastatic breast cancer previously treated with anthracyclines and taxanes.
Maeda S, Saimura M, Minami S, Kurashita K, Nishimura R, Kai Y, Yano H, Mashino K, Mitsuyama S, Shimokawa M, Tamura K ; Kyushu Breast Cancer Study Group.
Breast. 2017 Apr ; 32 : 66-72.
- 23) Combinational use of hepatitis B viral antigens predicts responses to nucleos(t)ide analogue/peg-interferon sequential therapy.
Matsumoto A, Nishiguchi S, Enomoto H, Kang JH, Tanaka Y, Shinkai N, Kurosaki M, Enomoto M, Kanda T, Yokosuka O, Yatsushashi H, Nagaoka S, Okuse C, Kagawa T, Mine T, Takaguchi K, Saito S, Hino K, Ikeda F, Sakisaka S, Morihara D, Miyase S, Tsuge M, Chayama K, Hiramatsu N, Suzuki Y, Murata K, Tanaka E.
J Gastroenterol. 2017 Jun 20. doi : 10.1007/s00535-017-1360-z. [Epub ahead of print]

- 24) Genome-Wide Association Study Identifies TLL1 Variant Associated With Development of Hepatocellular Carcinoma After Eradication of Hepatitis C Virus Infection.
Matsuura K, Sawai H, Ikeo K, Ogawa S, Iio E, Isogawa M, Shimada N, Komori A, Toyoda H, Kumada T, Namisaki T, Yoshiji H, Sakamoto N, Nakagawa M, Asahina Y, Kurosaki M, Izumi N, Enomoto N, Kusakabe A, Kajiwara E, Itoh Y, Ide T, Tamori A, Matsubara M, Kawada N, Shirabe K, Tomita E, Honda M, Kaneko S, Nishina S, Suetsugu A, Hiasa Y, Watanabe H, Genda T, Sakaida I, Nishiguchi S, Takaguchi K, Tanaka E, Sugihara J, Shimada M, Kondo Y, Kawai Y, Kojima K, Nagasaki M, Tokunaga K, Tanaka Y ;
Japanese Genome-Wide Association Study Group for Viral Hepatitis.
Gastroenterology. 2017 May ; 152(6) : 1383-1394.
- 25) TNF- α -induced miR-155 regulates IL-6 signaling in rheumatoid synovial fibroblasts.
Migita K, Iwanaga N, Izumi Y, Kawahara C, Kumagai K, Nakamura T, Koga T, Kawakami A.
BMC Res Notes. 2017 Aug 14 ; 10(1) : 403.
- 26) Spinal anesthesia increases the risk of venous thromboembolism in total arthroplasty :
Secondary analysis of a J-PSVT cohort study on anesthesia.
Nakamura M, Kamei M, Bito S, Migita K, Miyata S, Kumagai K, Abe I, Nakagawa Y, Nakayama Y, Saito M, Tanaka T, Motokawa S.
Medicine (Baltimore). 2017 May ; 96(18) : e6748.
- 27) HLA-DRB1 and DQB1 alleles in Japanese type 1 autoimmune hepatitis : The predisposing role of the DR4/DR8 heterozygous genotype.
Oka S, Furukawa H, Yasunami M, Kawasaki A, Nakamura H, Nakamura M, Komori A, Abiru S, Nagaoka S, Hashimoto S, Naganuma A, Naeshiro N, Yoshizawa K, Yamashita H, Ario K, Ohta H, Sakai H, Yabuuchi I, Takahashi A, Abe K, Yatsushashi H, Tohma S, Ohira H, Tsuchiya N, Migita K.
PLoS One. 2017 Oct 31 ; 12(10) : e0187325.
- 28) Papillary thyroid carcinoma with desmoid-type fibromatosis : A clinical, pathological, and immunohistochemical study of 14 cases.
Takada N, Hirokawa M, Ito M, Ito A, Suzuki A, Higuchi M, Kuma S, Hayashi T, Kishikawa M, Horikawa S, Miyauchi A.
Endocr J. 2017 Oct 28 ; 64(10) : 1017-1023.
- 29) Baseline MRI bone erosion predicts the subsequent radiographic progression in early rheumatoid arthritis patients who achieved sustained good clinical response.
Tamai M, Arima K, Nakashima Y, Kita J, Umeda M, Fukui S, Nishino A, Suzuki T, Horai Y, Okada A, Koga T, Kawashiri SY, Iwamoto N, Ichinose K, Yamasaki S, Nakamura H, Origuchi T, Aoyagi K, Uetani M, Eguchi K, Kawakami A.
Mod Rheumatol. 2017 Nov ; 27(6) : 961-966.
- 30) Low incidence of hepatitis B virus reactivation and subsequent hepatitis in patients with chronic hepatitis C receiving direct-acting antiviral therapy.
Tamori A, Abiru S, Enomoto H, Kioka K, Korenaga M, Tani J, Enomoto M, Sugiyama M, Masaki T, Kawada N, Yatsushashi H, Nishiguchi S, Mizokami M.
J Viral Hepat. 2017 Nov 30. doi : 10.1111/jvh.12840. [Epub ahead of print]

- 31) Cell sheet technology for the regeneration of gastrointestinal tissue using a novel gastric perforation rat model.
Tanaka S, Kanetaka K, Fujii M, Ito S, Sakai Y, Kobayashi S, Yamanouchi K, Fujita F, Kuroki T, Eguchi S.
Surg Today. 2017 Jan ; 47(1) : 114-121.
- 32) CD4+CD52lo T-cell expression contributes to the development of systemic lupus erythematosus.
Umeda M, Koga T, Ichinose K, Igawa T, Sato T, Takatani A, Shimizu T, Fukui S, Nishino A, Horai Y, Hirai Y, Kawashiri SY, Iwamoto N, Aramaki T, Tamai M, Nakamura H, Yamamoto K, Abiru N, Origuchi T, Ueki Y, Kawakami A.
Clin Immunol. 2017 Oct 13. pii : S1521-6616(17)30567-3. doi : 10.1016/j.clim.2017.10.004.
[Epub ahead of print]
- 33) Comparison of the outcomes of hepatocellular carcinoma after hepatectomy between two regional medical centers in China and Japan.
Wang K, Eguchi S, Hidaka M, Jin T, Soyama A, Kuroki T, Huang M, Wu L, Zou S, Shao J.
Asian J Surg. 2017 Sep ; 40(5) : 380-388.
- 34) Principal contribution of HLA-DQ alleles, DQB1*06:04 and DQB1*03:01, to disease resistance against primary biliary cholangitis in a Japanese population.
Yasunami M, Nakamura H, Tokunaga K, Kawashima M, Nishida N, Hitomi Y, Nakamura M.
Sci Rep. 2017 Sep 11;7(1):11093.
- 35) TNF- α potentiates uric acid-induced interleukin-1 β (IL-1 β) secretion in human neutrophils.
Yokose K, Sato S, Asano T, Yashiro M, Kobayashi H, Watanabe H, Suzuki E, Sato C, Kozuru H, Yatsuhashi H, Migita K.
Mod Rheumatol. 2017 Sep 14 : 1-5. doi : 10.1080/14397595.2017.1369924. [Epub ahead of print]
- 36) Up-regulated extracellular matrix components and inflammatory chemokines may impair the regeneration of cholestatic liver.
Zhang S, Li TS, Soyama A, Tanaka T, Yan C, Sakai Y, Hidaka M, Kinoshita A, Natsuda K, Fujii M, Kugiyama T, Baimakhanov Z, Kuroki T, Gu W, Eguchi S.
Sci Rep. 2016 May 26 ; 6 : 26540.

A-a2 : 英文症例報告 (11)

- 1) Septic pulmonary embolism associated with self-inflicted wound.
Fujioka M, Fukui K, Ishiyama S, Matsuda T.
Journal of Trauma and Critical Care. 2017 ; 1(1) : 8-10.
- 2) Coexistence of Takayasu's arteritis and inflammatory colitis detected by fluorodeoxyglucose positron emission tomography.
Horai Y, Kurushima S, Igawa T, Ichinose K, Nakamura H, Kawakami A.
Jpn. J. Clin. Immunol. 2017 ; 40(5) : 387-390.

- 3) Thyroid Storm Precipitated by Diabetic Ketoacidosis and Influenza A : A Case Report and Literature Review.
Ikeoka T, Ikeoka T, Otsuka H, Fujita N, Masuda Y, Maeda S, Horie I, Ando T, Abiru N, Kawakami A.
Intern Med. 2017 ; 56(2) : 181-185.
- 4) Protein induced by vitamin K absence or antagonist II (PIVKA-II) producing large cell neuroendocrine carcinoma (LCNEC) of lung with multiple liver metastases : A case report.
Kurohama H, Mihara Y, Izumi Y, Kamata M, Nagashima S, Komori A, Matsuoka Y, Ueki N, Nakashima M, Ito M.
Pathol Int. 2017 Feb ; 67(2) : 105-109.
- 5) Phalangeal microgeodic syndrome in a patient with systemic lupus erythematosus.
Kurushima S, Horai Y, Takatani A, Nishino A, Kawashiri SY, Ichinose K, Nakamura H, Kawakami A.
Intern Med. 2017 Dec 15 ; 56(24) : 3385-3387.
- 6) A case of adult Still's disease with macrophage activation syndrome complicating acute pancreatitis.
Kurushima S, Horai Y, Nagata K, Nakashiki S, Iwamoto N, Ichinose K, Nakamura H, Kawakami A.
Modern Rheumatology Case Reports. 13 Jan 2017 ; 1(1) : 20-23.
- 7) A case of single incision laparoscopic total colectomy for intestinal neuronal dysplasia type B.
Masuda T, Nonaka T, Adachi T, Hisanaga M, Nagayoshi S, Tokunaga T, Taniguchi K, Kurohama H, Ito M, Fujioka H.
Int J Surg Case Rep. 2017 ; 38 : 122-127. Epub 2017 Jul 21.
- 8) A case of mixed connective tissue disease positive for proteinase 3 antineutrophil cytoplasmic antibody in a patient with slowly progressive type 1 diabetes mellitus and chronic thyroiditis.
Michitsuji T, Horai Y, Sakoh A, Asano T, Iwanaga N, Izumi Y, Kawakami A.
Jpn. J. Clin. Immunol. 2017.12.31. 40(6) : 467-470.
- 9) Drug-induced Liver Injury Associated with Mosapride Citrate : A Report of Two Cases.
Sako A, Bae SK, Gushima T, Motoshita J, Bekki S, Abiru S, Komori A, Shimoda S, Ito M, Yatsuhashi H, Takahashi K.
Intern Med. 2017 ; 56(1) : 41-45.
- 10) Frequent vomiting attacks in a patient with Lhermitte-Duclos disease : a rare pathophysiology of cerebellar lesions?
Somagawa C, Ono T, Honda R, Baba H, Hiu T, Ushijima R, Toda K, Sato K, Ito M, Tsutsumi K.
J Neurosurg Pediatr. 2017 Sep ; 20(3) : 298-301.
- 11) The long-term survival in primary retroperitoneal mucinous cystadenocarcinoma : a case report.
Tokai H, Nagata Y, Taniguchi K, Matsumura N, Kitasato A, Tokunaga T, Takeshita H, Kuroki T, Maeda S, Ito M, Fujioka H.
Surg Case Rep. 2017 Nov 25 ; 3(1) : 117.

A-b2：英文抄録 (2)

- 1) Change of surgical procedure for thyroid tumor after collaboration with Nagasaki (Japan) and Semipalatinsk (Kazakhstan).
Maeda S, Adylkhanov T.
J Clin Oncol. 2017 ; 35(15) : e17590.
- 2) Cathepsin Z variants are associated with progression to end-stage hepatic failure in Japanese patients with primary biliary cholangitis.
Nishida N, Aiba H, Kawashima M, Hitomi Y, Kojima K, Komori A, Nagasaki M, Tokunaga K, Nakamura M.
J Hepatol. 2017 ; 66(1, Suppl) : S553.

B：和文**B-a1：和文原著 (5)**

- 1) HISCL HBc抗体試薬の基本性能と臨床性能.
佐藤知子、奥野晃司、八橋弘.
医学と薬学 74(8) : 959-968, 2017.7.
- 2) 乳癌転移巣細胞診検体受容体検査の日常運用に関する多施設共同研究: ホルマリン固定細胞検体のアルギン酸ナトリウム法セルブロックによる標本作製の提案.
西村理恵子、増田慎三、山城勝重、村田有也、松井哲、森清、高橋将人、青儀健二郎、伊東正博、前田茂人、倉岡和矢、尾崎慎治、市原周、佐藤康幸、田口健一、徳永えり子、鈴木博義、渡辺隆紀.
乳癌の臨床 32(3) : 249-257, 2017.6.
- 3) 上顎洞異物の治療経験.
野口美帆、藤岡正樹、西條広人、林田健志.
日本顎顔面外科雑誌 33(4) : 148-51, 2017.
- 4) 皮膚・軟部組織感染創の感染制御・創閉鎖を目的とする遊離組織皮弁移植手術の有用性.
林田健志、西條広人、藤岡正樹.
島根医学 36(4) : 34-39, 2017.
- 5) 全身麻酔下の術中体圧と術後皮膚障害発生の関係.
原健太郎、藤岡正樹、七山松美、森順子.
日本褥瘡学会誌 19(1) : 34-42, 2017.2.

B-a2：和文症例報告 (3)

- 1) 術前MRCPで胆道走行異常を同定しえた1例.
池田貴裕、大野慎一郎、黒木保、北里周、日高匡章、足立智彦、高槻光寿、江口晋.
胆道 31(2) : 259-264, 2017.5.
- 2) 巨細胞の見られる甲状腺髄様癌の1例.
伊東正博.
日本臨床細胞学会九州連合会雑誌 48 : 119-120, 2017.7.

3) 肺コクシジオイデス症の1例.

黒濱大和、岩永直樹、長島聖二、田川努、御手洗和範、三原裕美、福島喜代康、中島正洋、堤寛、伊東正博.

診断病理 34(3) : 179-183, 2017.7.

B-b1 : 和文総説 (9)

1) 【自己免疫性肝・胆管疾患のupdate】 自己免疫性肝・胆管疾患の病態 AIH、PBC、PSCの遺伝的背景 GWAS解析を中心に.

中村稔.

肝・胆・膵 74(6) : 853-865, 2017.6.

2) 【今日から役立つ肝胆膵疾患の遺伝子診断学】 これからの遺伝子診断を理解するためのOverview ここまでわかったPBCの疾患感受性遺伝子.

中村稔.

肝・胆・膵 74(2) : 279-289, 2017.2.

3) 【原発性胆汁性胆管炎：病名変更後の動向】 原発性胆汁性胆管炎の成立機序 遺伝子の探索関連.

中村稔.

消化器・肝臓内科 1(6) : 635-643, 2017.6.

4) 【ウイルス肝炎 実地診療に活用したいウイルス肝炎の最新情報】 セミナー 実地診療に活用したい ウイルス肝炎の最新情報 B型肝炎の自然経過とその予測マーカー.

八橋弘.

Medical Practice 34(5) : 745-750, 2017.5.

5) 【ウイルス肝炎のすべて】 血液伝播するウイルス肝炎 B型肝炎 HBVキャリアの自然史.

八橋弘.

医学のあゆみ 262(14) : 1311-1316, 2017.9.

6) 【ここまで変わったC型肝炎の治療】 DAA治療のアウトカム 肝発がんの実態と対策.

八橋弘.

最新医学 72(9) : 1285-1290, 2017.9.

7) 【進化するB型肝炎治療】 B型肝炎治療の最新オーバービュー.

八橋弘.

消化器・肝臓内科 1(4) : 383-389, 2017.4.

8) 【肝臓を診る-肝臓病のキモ】 肝疾患各論 急性ウイルス性肝炎 早く診断をつけたい！

でも無駄な検査はしたくない！

八橋弘.

内科 119(6) : 1101-1106, 2017.6.

9) 特集／第58回日本臨床ウイルス学会, シンポジウム2 「種を越えるウイルス」, E型肝炎.

八橋弘.

臨床とウイルス 45(4) : 177-182, 2017.10.

B-c：和文著書（10）

[分担]

- 1) 膵癌に対する低侵襲手術.
黒木保.
新世代の膵癌診療・治療バイブル, メディカ出版, 368頁, pp183-189, 2017.5.
- 2) 原発性胆汁性肝硬変.
中村稔.
今日の治療指針 2018年版 医学書院, pp529-531, 2017.1.
- 3) 呼吸困難. 第IV章 がん関連症状や宿主状態別対応〜プロのこつ.
森田道、前田茂人.
乳がん薬物療法副作用マネージメント, 424頁, メジカルビュー社. pp316-319, 2017.9.11.
- 4) 4 抗ウイルス療法の課題と留意点, 2 C型肝炎, 4) 抗ウイルス療法と肝発癌.
八橋弘.
B型・C型肝炎の抗ウイルス療法：最前線の治療エッセンス. 編者 持田 智, 株式会社医薬ジャーナル社, 大阪, 195頁. pp156-62, 2017.7.20.
- 5) 第1章肝疾患の基礎知識, 1. 肝疾患を理解するための基本.
八橋弘.
イチからわかる！歯科医師が知っておきたい肝疾患のキホン. 長尾由実子・斎藤貴史・佐田通夫編集, 南山堂, 東京, 112頁. pp2-12, 2017.5.15
- 6) II章 検査・診断, 血液検査, ウイルスマーカー.
八橋弘.
プリンシプル消化器疾患の臨床3 ここまできた肝臓病診療, 416頁. pp104-107, 2017.10.20.
- 7) I章 肝疾患治療の実践〜ガイドラインの一步先へ〜, 1. 急性肝炎（A型肝炎, B型肝炎, C型肝炎, D型肝炎, E型肝炎）.
八橋弘.
肝疾患治療マニュアルーガイドラインを理解し, 応用する, 編集 竹原徹郎・持田 智, 株式会社南江堂, 東京, 309頁pp2-7, 2017.6.20.
- 8) 11. 肝・胆道・膵の疾患, 11-2急性ウイルス性肝炎, 2) A型急性肝炎.
八橋弘.
内科学 第11版, 総編集 矢崎義雄, 株式会社朝倉書店, 東京, 2385頁. pp1060-1062, 2017.3.20.
- 9) 生化学・血液学・血清学・尿, 「肝機能が正常でB型肝炎の抗原が陽性」／「肝機能が正常でC型肝炎の抗体が陽性」と言われたら.
八橋弘.
<ジェネリックBOOKS>健診データで困ったらーよくある検査異常への対応策（第1版第1刷）.
伊藤澄信編集, 医学書院, 東京, 184頁, pp.83-87, 2017.4.1.
- 10) 第1章肝疾患の基礎知識, 4. 肝硬変, 5. 肝癌.
山崎一美.
イチからわかる！歯科医師が知っておきたい肝疾患のキホン. 長尾由実子・斎藤貴史・佐田通夫編集, 南山堂, 東京, 112頁. pp.34-38, pp.39-43, 2017.5.15.

B-e：その他（ラジオ・新聞・雑誌等）（2）

- 1) <Letter to the Editor>Rapidly growing, moderately differentiated HCC:
A clinicopathological characteristic of HCC occurrence after IFN-free DAA therapy?.
Nakao Y, Hashimoto S, Abiru S, Komori A, Yamasaki K, Nagaoka S, Saeki A, Bekki S,
Kugiyama Y, Kuroki T, Ito M, Nakao K, and Yatsuhashi H.
J Hepatol. 2017 Nov 13 ; pii: S0168-8278(17)32434-0. doi: 10.1016/j.jhep.2017.11.011. [Epub ahead
of print]
- 2) <特別座談会> 新しい肝線維化マーカーを指標とする肝炎・肝癌マネジメントとは—M2BPGiは
国内で開発され、臨床的意義を確立し、輸出されているマーカー。
八橋弘、田中靖人、豊田秀徳、熊田卓。
Vita 34(4) : 1-17, 2017.10・11・12.

学 会 発 表

A：国際学会，国際会議

※開催日順

A-a：特別講演，教育講演，招待講演（2）

- 1) <国際会議>
Ito M.
International Cooperation to Establish Post Chernobyl NIS Thyroid Tissue, Nucleic Acid and
Data Banks.
23th Pathology Panel Meeting. Imperial College South Kensington campus, London,
2017.5.24-25.
- 2) <招待講演> Application of free flow-through anterolateral thigh flap for reconstruction of
soft tissue defects of the extremities requiring revascularization.
Fujioka M.
The Asia-Pacific International Summit Forum of Wound and Scar Medicine. Shanghai, China,
2017.11.3-5.

A-b1：シンポジウム、パネルディスカッション等（4）

- 1) <Workshop> Prediction of HCC development in small molecular compounds for patients
with HCC.
Yatsuhashi H.
2nd China-Japan Hepatitis Workshop. Shanghai China, 2017.12.9.
- 2) <Symposium> New Strategies and targets for treatment of HCC.
Yatsuhashi H.
Symposium on New Strategies and Target on Therapy of Liver disease. Shanghai China,
2017.12.9.
- 3) <Workshop> Identification of the disease causal variants in human primary biliary
cholangitis (PBC) susceptibility gene loci NFKB1/MANBA.
Hitomi Y, Aiba Y, Nakamura M, Tokunaga K.
W17; Human Immunology.
The 46th Annual Meeting of The Japanese Society for Immunology. Tokyo, 2017.12.12.

- 4) <Workshop>Principal contribution of HLA-DQ alleles, DQB1*06:04 and DQB1*03:01, to disease resistance against primary biliary cholangitis in a Japanese population.
Yasunami M, Nakamura H, Tokunaga K, Kawashima M, Nishida N, Hitomi Y, Nakamura M.
W6; Tissue-specific immune diseases II.
The 46th Annual Meeting of The Japanese Society for Immunology. Tokyo, 2017.12.12.

A-b2 : 一般演題 (24)

- 1) <Oral>Perspective of M2BPGi for management of Chronic Liver Disease related to HCV.
Bekki S.
Session1: Pathology, Diagnosis & Basic Study, International Liver symposium 2017-Liver Fibrosis UP to date 2017 -. Kyoto, 2017.2.4.
- 2) <Oral>Brand Name Drug.
Yatsushashi H.
Breakfast Debate 02: Choice of DAA for HCV, The 26th Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver (APASL 2017). Shanghai, 2017.2.18.
- 3) <Oral>Genome-wide Association Studies Identify PRKCB as A Novel Genetic Susceptibility Locus for Primary Biliary Cholangitis in the Japanese Population.
Nakamura M, Kawashima M, Hitomi Y, Aiba Y, Nishida N, Kojima K, Kawai Y, Komori A, Shimoda S, Tanaka A, Nagasaki M, Tokunaga K, PBC consortium in Japan.
Plenary Presentation 03, The 26th Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver (APASL 2017). Shanghai, 2017.2.19.
- 4) <Poster>A Patient with Liver Cirrhosis Confirmed Reduction in Activity of Lysosomal Acid Lipase (LAL).
Kugiyama Y, Abiru S, Nakao Y, Bekki S, Hashimoto S, Uchida S, Saeki A, Nagaoka S, Komori A, Yatsushashi H.
Poster Free Paper Sessions; LC, The Asian Pacific Association for the Study of the Liver Single Topic Conference (APASL STC) 2017 Nagasaki. sasebo, 2017.4.10.
- 5) <Oral>Analysis of Developing HCC after Achieving SVR in Patients with DAAs Therapy for Hepatitis C.
Nakao Y, Bekki S, Uchida S, Hashimoto S, Saeki A, Nagaoka S, Abiru S, Yamasaki K, Komori A, Yatsushashi H.
Oral Free Paper Session : HCC Clinical-1, The Asian Pacific Association for the Study of the Liver Single Topic Conference (APASL STC) 2017 Nagasaki. sasebo, 2017.4.10.
- 6) <Poster>Development of Hepatocellular Carcinoma in the Patient Occurred Newly just after Sustained Virological Response to Ledipasvir/Sofosbuvir Against Chronic Hepatitis C : A Case Report.
Ozono D, Bekki S, Hashimoto S, Saeki A, Nagaoka S, Abiru S, Yamasaki K, Komori A, Ito M, Yatsushashi H.
Poster Free Paper Sessions ; HCV-Post SVR, The Asian Pacific Association for the Study of the Liver Single Topic Conference (APASL STC) 2017 Nagasaki. sasebo, 2017.4.10.

- 7) <Oral> Post SVR Syndrome.
Yatsushashi H.
Session 3 : HCV, The Asian Pacific Association for the Study of the Liver Single Topic Conference
(APASL STC) 2017 Nagasaki. sasebo, 2017.4.11.
- 8) <Publication-only> Change of surgical procedure for thyroid tumor after collaboration with Nagasaki (Japan) and Semipalatinsk (Kazakhstan).
Maeda S, Tasbolat Adylkhanov.
2017 ASCO annual meeting. Chicago, USA, 2017.6.2-6.
- 9) Difficulty scoring system in laparoscopic pancreaticoduodenectomy.
Kuroki T.
6th Asian Pacific Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery. Yokohama, 2017.6.7.
- 10) Difficulty scoring system in laparoscopic pancreatectomy: Distal pancreatectomy.
Takao Ohtsuka, Daisuke Ban, Yoshihara Nakamura, Yuuichi Nagakawa, Kohei Nagata, Goro Honda, Kyoichi Takaori, Takeyuki Misawa, Tamotsu Kuroki, Manabu Kawai, Takanori Morikawa, Minoru Tanabe, Go Wakabayashi, Hiroyuki Yamaue, Masakazu Yamamoto, Masafumi Nakamura.
6th Asian Pacific Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery. Yokohama, 2017.6.7.
- 11) Difficulty scoring system in laparoscopic pancreaticoduodenectomy.
Yuuichi Nagakawa, Takao Ohtsuka, Daisuke Ban, Yoshihara Nakamura, Kohei Nagata, Goro Honda, Kyoichi Takaori, Takeyuki Misawa, Tamotsu Kuroki, Manabu Kawai, Takanori Morikawa, Minoru Tanabe, Go Wakabayashi, Hiroyuki Yamaue, Masakazu Yamamoto, Masafumi Nakamura.
6th Asian Pacific Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery. Yokohama, 2017.6.7.
- 12) <Oral> Role of new DAAs in the treatment and management for Hepatitis C patients.
Yatsushashi H.
Roche Asia Pacific SPEAK Infectious Disease(ID) Day. Shanghai China, 2017.9.9.
- 13) <Poster> GWAS polygenic model approach applied to primary biliary cholangitis (PBC) in a Japanese population.
Gervais, Ueno K, Kojima K, Aiba Y, Kawashima M, Kawai Y, Hitomi Y, Tokunaga K, Nakamura M, Nagasaki M.
ASHG 2017 (The 67th Annual Meeting of the American Society of Human Genetics).
Orlando USA, 2017.10.18.
- 14) <Poster> Genome-wide haplotype-based association study reveals novel non-HLA susceptibility loci for primary biliary cirrhosis in Japanese cohorts.
C. Im, Y. Sapkota, Nakamura M, Tokunaga K, Yasui Y.
ASHG 2017 (The 67th Annual Meeting of the American Society of Human Genetics).
Orlando USA, 2017.10.19.

- 15) <Poster> Identification of the primary functional variants in primary biliary cholangitis susceptibility gene loci NFKB1/MANBA.
Hitomi Y, Nakatani K, Kojima K, Nishida N, Kawai Y, Kawashima M, Aiba Y, Nagasaki M, Nakamura M, Tokunaga K.
ASHG 2017 (The 67th Annual Meeting of the American Society of Human Genetics).
Orlando USA, 2017.10.19.
- 16) <Poster> NELFCD and CTSZ loci are associated with jaundice-stage progression in primary biliary cholangitis in the Japanese population.
Kawashima M, Nishida N, Hitomi Y, Kojima K, Kawai Y, Aiba Y, Nakamura H, Nagasaki M, Tokunaga K, Nakamura M.
ASHG 2017 (The 67th Annual Meeting of the American Society of Human Genetics).
Orlando USA, 2017.10.20.
- 17) <Poster> Increased expression and altered localization of cathepsin Z is associated with progression to jaundice-stage in primary biliary cholangitis.
Aiba Y, Harada K, Ito M, Aishima S, Hitomi Y, Nishida N, Kawashima M, Uemoto S, Kokudo N, Takatsuki M, Eguchi S, Shimoda S, Nakamura H, Komori A, Abiru S, Nagaoka S, Yatsunami H, Tokunaga K, Nakamura M.
AASLD The Liver Meeting 2017. Washington, DC, 2017.10.20-24.
- 18) <Poster> Ledipasvir/Sofosbuvir in the Treatment of Japanese Patients with Chronic HCV Genotype2 Infection.
Asahina Y, Itoh Y, Ueno Y, Matsuzaki Y, Takikawa Y, Yatsunami H, Genda T, Ikeda F, Matsuda T, K.C Huang, Benedetta Massetto, Anu O. Osinusi, Diana M. Brainard, John G. McHutchison, Kawada N, Enomoto N.
AASLD The Liver Meeting 2017. Washington, DC, 2017.10.20-24.
- 19) <Poster> Analysis of the Association between Serum Proprotein Convertase Subtilisin/kexin Type 9 Level and the Progression of Liver Fibrosis in Patients with Chronic Hepatitis C genotype 1b.
Hashimoto S, Nakao Y, Kugiyama Y, Bekki S, Uchida S, Saeki A, Nagaoka S, Abiru S, Yamasaki K, Komori A, Yatsunami H.
AASLD The Liver Meeting 2017. Washington, DC, 2017.10.20-24.
- 20) <Poster> Efficacy and Safety of Sofosbuvir/Velpatasvir plus Ribavirin for 12 or 24 Weeks in Genotype 1 or 2 HCV-Infected Japanese Patients with Prior Treatment Failure to DAA-Based Regimens.
Izumi N, Takehara T, Chayama K, Yatsunami H, Takaguchi T, Ide T, Kurosaki M, Ueno Y, Toyoda H, Kakizaki S, Tanaka Y, Kawakami Y, Enomoto H, Ikeda F, K.C Huang, Shampa De-Oertel, Brian L. McNabb, Gregory Camus, John McNally, Diana M. Brainard, John G. McHutchison, Mochida S, Mizokami M.
AASLD The Liver Meeting 2017. Washington, DC, 2017.10.20-24.

- 21) <Poster>Disease activity of human autoimmune hepatitis is associated with type-II interferon signaling and cytotoxic effector lymphocyte gene signature in the liver.
Komori A, Nakao Y, Kugiyama Y, Bekki S, Hashimoto S, Saeki A, Nagaoka S, Yamasaki K, Abiru S, Itoh M, Yatsushashi H.
AASLD The Liver Meeting 2017. Washington, DC, 2017.10.20-24.
- 22) <Poster>Hepatocellular carcinoma development in Japanese patients with HCV genotype 1 infection who achieved sustained virologic response by ledipasvir/sofosbuvir and protease inhibitor with peginterferon plus ribavirin.
Korenaga M, Izumi N, Yokosuka O, Takehara T, Sakamoto N, Nishiguchi S, Ikeda F, Yanase M, Toyoda H, Genda T, Umemura T, Yatsushashi H, Ide T, Toda N, Nirei K, Ueno Y, Nishigaki Y, Nakane K, Kanto T, Omata M, Mizokami M.
AASLD The Liver Meeting 2017. Washington, DC, 2017.10.20-24.
- 23) <Poster>The clinicopathological characteristics of newly diagnosed hepatocellular carcinoma shortly after IFN-Free-DAAtherapy.
Nakao Y, Nakamura Y, Kugiyama Y, Bekki S, Hashimoto S, Saeki A, Nagaoka S, Abiru S, Yamasaki K, Komori A, Yatsushashi H.
AASLD The Liver Meeting 2017. Washington, DC, 2017.10.20-24.
- 24) <Poster>Low incidence of HBV reactivation and consequent hepatitis in patients with chronic hepatitis C receiving direct-acting antiviral therapy.
Tamori A, Abiru S, Enomoto H, Kiyoka K, Korenaga M, Tani J, Enomoto M, Sugiyama M, Masaki T, Kawada N, Yatsushashi H, Nishiguchi S, Mizokami M.
AASLD The Liver Meeting 2017. Washington, DC, 2017.10.20-24.

B：国内学会

B-a：特別講演、教育講演（3）

- 1) <教育講演>血液検査所見で肝臓病患者の未来を予測する。
八橋弘。
平成29年度日臨技九州支部医学検査学会（第52回）。長崎，2017.10.21.
- 2) <教育講演>わが国のC型肝炎治療の現状と今後の課題。
八橋弘。
第110回日本消化器病学会九州支部例会／第104回日本消化器内視鏡学会九州支部例会。那覇，2017.11.17.
- 3) <教育講演>B型肝炎。
八橋弘。
第42回日本肝臓学会西部会 教育講演会。福岡，2017.12.1.

B-b1：シンポジウム、パネルディスカッション等（19）

- 1) <ワークショップ>ゴリムマブの23価肺炎球菌ワクチンの免疫原性に対する影響。
右田清志、和泉泰衛、岩永希、屋代牧子、浅野智之、佐藤秀三、小林浩子、渡辺浩志。
リウマチ性疾患の合併症3，第61回日本リウマチ学会総会・学術集会。福岡，2017.4.19-23.

- 2) <ワークショップ>人工関節置換術後の深部静脈血栓症予防に対する機械的圧迫法とHIT抗体の関与.
本川哲、右田清志、坂井達弥、泉政寛.
RAの手術；疾患活動性と合併症，第61回日本リウマチ学会総会・学術集会. 福岡，2017.4.19-23.
- 3) <パネルディスカッション>原発性胆汁性胆管炎（PBC）模倣培養系とゲノムワイド関連解析（GWAS）を統合して得られる遺伝子情報の機能解析.
下田慎治、小野原伸也、中村稔.
パネルディスカッション12：自己免疫性肝疾患のパラダイムシフト，第103回日本消化器病学会総会. 東京，2017.4.20.
- 4) <シンポジウム>IFN フリー治療Post SVR syndromeとしての脂質代謝異常の検討
－治療中LDLCに着目して－.
橋元悟、山崎一美、八橋弘.
シンポジウム 7：C型肝炎の治療到達点と新たな課題，第103回日本消化器病学会総会. 東京，2017.4.20.
- 5) <パネルディスカッション>上肢Gustilo Anderson type III開放骨折に対するFree flow-through型遊離前外側大腿皮弁移植による血管・軟部組織同時再建.
藤岡正樹、石山智子、福井季代子.
パネルディスカッション2；複雑な外傷の取り扱い，第60回日本手外科学会総会学術集会. 名古屋，2017.4.27.
- 6) <ワークショップ>DAAs治療後SVR直後肝癌の実態.
中尾康彦、釘山有希、戸次鎮宗、内田信二郎、橋元悟、佐伯哲、長岡進矢、阿比留正剛、山崎一美、小森敦正、八橋弘.
ワークショップ2：ウイルス性肝炎治療の残された問題点，第109回日本消化器病学会九州支部例会. 福岡，2017.5.19.
- 7) <ワークショップ>肝疾患における握力測定の意義.
内田信二郎、中尾康彦、釘山有希、戸次鎮宗、橋元悟、佐伯哲、長岡進矢、阿比留正剛、山崎一美、小森敦正、八橋弘.
ワークショップ3：生活習慣と消化器疾患，第109回日本消化器病学会九州支部例会. 福岡，2017.5.20.
- 8) <シンポジウム>E型肝炎.
八橋弘.
シンポジウム2：種を越えるウイルス，第58回日本臨床ウイルス学会. 長崎，2017.5.28.
- 9) <ワークショップ>原発性胆汁性胆管炎（PBC）の新規治療開発に向けて.（追加発言）
下田慎治、小野原伸也、中村稔、原田憲一.
ワークショップ10：難治性肝胆道疾患（PBC/PSC/AIH）診療の進歩と今後の課題，第53回日本肝臓学会総会. 広島，2017.6.9.
- 10) <ワークショップ>C型慢性肝疾患におけるM2BPGi値の再評価と線維化マーカーとしての意義.
戸次鎮宗、山崎一美、八橋弘.
ワークショップ9：肝疾患における新規バイオマーカーの探索，第53回日本肝臓学会総会. 広島，2017.6.9.

- 11) <パネルディスカッション>「へき地における褥瘡対策」長崎県の離島僻地における褥瘡対策の問題点と取り組み：創傷画像送信診察システムの成果を中心に。
藤岡正樹。
第19回日本褥瘡学会総会学術集会。名古屋，2017.9.14-15.
- 12) <シンポジウム>腹腔鏡下脾弯曲側横行結腸癌手術における大網温存・網嚢開放先行手技。
竹下浩明、山下真理子、松村尚美、釘山統太、平山昂仙、北里周、徳永隆幸、黒木保、谷口堅、藤岡ひかる。
ビデオシンポジウム；横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術の工夫，第42回大腸肛門病学会九州地方会。熊本，2017.9.16.
- 13) <ワークショップ>各種抗ウイルス療法別HBs抗原量の推移の検討。
山崎一美、長岡進矢、八橋弘。
ワークショップ5；B型肝炎治療の進歩，第21回日本肝臓学会大会，第59回日本消化器病学会大会（JDDW2017）。福岡，2017.10.12.
- 14) <ワークショップ>DAAs治療導入例での肝発癌の検討：発癌寄与因子とSVR直後肝癌の実態。
中尾康彦、山崎一美、八橋弘。
ワークショップ18；C型肝炎SVR例の予後改善，第21回日本肝臓学会大会，第59回日本消化器病学会大会（JDDW2017）。福岡，2017.10.13.
- 15) <シンポジウム>NDBを用いた肝疾患臨床研究。
八橋弘、伊藤澄信。
シンポジウム24；疾患レジストリ・ビッグデータを用いた臨床研究，第71回国立病院総合医学会。高松，2017.11.11.
- 16) <シンポジウム>局所進行膵癌に対する化学放射線治療、および二次化学療法の後方視的検討。
佐伯哲、中尾康彦、釘山有希、中村裕、戸次鎮宗、橋元悟、長岡進矢、阿比留正剛、山崎一美、小森敦正、八橋弘。
シンポジウム2；胆・膵領域癌の診断・治療の現況と展望，第110回日本消化器病学会九州支部例会。那覇，2017.11.18.
- 17) <シンポジウム>HBV・HCV共感染例を含めたC型慢性肝疾患DAA治療時のHBV再活性化の検討－多施設共同研究－。
田守昭博、阿比留正剛、西口修平。
シンポジウム4；C型肝炎におけるDAA治療の成果と今後の課題，第42回日本肝臓学会西部会。福岡，2017.11.30.
- 18) <シンポジウム>抗ウイルス療法におけるHBsAg量の評価に関する検討。
山崎一美、長岡進矢、八橋弘。
シンポジウム1；B型肝炎に対する治療の成果と今後の課題，第42回日本肝臓学会西部会。福岡，2017.11.30.
- 19) <シンポジウム>肝炎医療助成制度からみた長崎県のC型肝炎患者申請者の変遷。
山崎一美、中尾一彦、八橋弘。
シンポジウム9；B型，C型肝炎患者拾い上げの取り組み，第42回日本肝臓学会西部会。福岡，2017.12.1.

B-b2：一般演題（99）

- 1) <口演>気管原発髄外形質細胞腫の1例。
大坪智恵子、牧野謙二、峯聡美、御手洗和範、溝脇貴志、宮崎敦史、藤本俊史、岩永直樹、田川努、伊東正博。
胸部1，第184回日本医学放射線学会九州地方会。那覇，2017.2.4.
- 2) <口演>悪性腫瘍との鑑別を要した増殖性筋炎の1例。
峯聡美、牧野謙二、御手洗和範、溝脇貴志、宮崎敦史、藤本俊史、黒濱大和、伊東正博、熊谷謙治、上谷雅孝。
骨軟部，第184回日本医学放射線学会九州地方会。那覇，2017.2.5.
- 3) <口演>外側広筋付き有茎前外側大腿皮弁を用いて下部腹直筋欠損を動的再建した2例。
福井季代子、石山智子、藤岡正樹。
第22回日本形成外科学会手術手技学会。東京，2017.2.18.
- 4) <口演>熱傷の予後因子としてのPBIとABSIの比較。
増田幸子、重野晃宏、坂本透、増田太郎、古川愛子、中原知之、窪田佳史、白水春香、日宇宏之、山田成美、中道親昭、藤岡正樹。
第27回日本熱傷学会九州地方会。福岡，2017.2.25.
- 5) <口演>当院救命救急センター入院となった熱傷患者における創培養に関する検討。
窪田佳史、増田幸子、重野晃宏、坂本透、増田太郎、古川愛子、中原知之、白水春香、日宇宏之、山田成美、中道親昭、藤岡正樹。
第27回日本熱傷学会九州地方会。福岡，2017.2.25.
- 6) <口演>顔面アルカリ熱傷の治療経験。
福井季代子、石山智子、藤岡正樹。
第27回日本熱傷学会九州地方会。福岡，2017.2.25.
- 7) <口演>当院における悪性葉状腫瘍の治療経験。
森田道、前田茂人、糸瀬磨、松村尚美、久芳さやか、伊東正博。
一般演題：病理，第14回日本乳癌学会九州地方会。福岡，2017.3.4.
- 8) <口演>Challenge of Fix and Flap Procedure for Gustilo Anderson type II Leg Fracture。
藤岡正樹、石山智子、福井季代子。
第103回九州・沖縄形成外科学会学術集会。福岡，2017.3.11.
- 9) <口演>短期間に繰り返し出現する脳梗塞様病変を契機に成人T細胞白血病（ATL）の診断に至った1例。
島智秋、山田寛子、三根義和、牧山純也、吉田真一郎、黒濱大和、伊東正博、岩永洋。
セッション 7，第217回日本神経学会九州地方会。福岡，2017.3.11.
- 10) <口演>Hepatic ciliated foregut cystの一例。
大坪智恵子、伊東正博。
第356回日本病理学会九州沖縄支部スライドコンファレンス。長崎，2017.3.11.
- 11) <口演>気管塞栓術が有効であった難治性気胸合併 Clinically amyopathic dermatomyositis（CADM）の1例。
遠藤未紗、岩永希、道辻徹、岩永直樹、永吉洋介、和泉泰衛、持永浩史、石川博士、田川努、右田清志。
一般演題5；PM/DMなど，第53回九州リウマチ学会。別府市，2017.3.11.

- 12) <ポスター> Gustilo Anderson type IIIc四肢開放骨折に対するflow-through型遊離前外側大腿皮弁移植による血管・軟部組織同時再建.
藤岡正樹、石山智子、福井季代子.
一般ポスター12：手（外傷、その他），第60回日本形成外科学会総会学術集会. 大阪，2017.4.13.
- 13) <ポスター> 自己免疫性肝炎とTNIP1遺伝子多型の関連.
岡笑美、古川宏、當間重人、川崎綾、土屋尚之、右田清志.
その他の膠原病，第61回日本リウマチ学会総会・学術集会. 福岡，2017.4.19-23.
- 14) <口演> C型とB型肝炎のM2BPGiの線維化診断能に関する検討.
山崎一美、戸次鎮宗、内田信二郎、釘山有希、橋元悟、佐伯哲、長岡進矢、阿比留正剛、小森敦正、八橋弘.
プレナリーセッション：肝2，第103回日本消化器病学会総会. 東京，2017.4.21.
- 15) <ポスター> 甲状腺乳頭癌から放射線治療後に未分化転化した一剖検例.
上木望、黒濱大和、ムサジヤノバ ジャンナ、松田勝也、三浦史郎、重野里代子、田中藤信、伊東正博、中島正洋.
ポスター発表（一般）32；内分泌2，第106回日本病理学会総会. 東京，2017.4.27.
- 16) <ポスター> 線毛性粘液結節性乳頭状腫瘍の2症例.
大坪智恵子、黒濱大和、三原裕美、田中伴典、持永浩史、田川努、藤本俊史、伊東正博.
ポスター発表（一般）11；呼吸器・胸腺・中皮3，第106回日本病理学会総会. 東京，2017.4.27.
- 17) <ポスター> 自己免疫性肝炎と薬物性肝障害の病理組織学的鑑別のための有用項目の検討.
黒濱大和、大坪智恵子、梅崎靖、三原裕美、阿比留正剛、中島正洋、伊東正博.
ポスター発表（一般）67；肝1，第106回日本病理学会総会. 東京，2017.4.28.
- 18) <ポスター> 術前化学療法によりpCRが得られたトリプルネガティブ乳癌の1例.
岡本渉大、森田道、前田茂人、糸瀬磨、松村尚美、森山正章、持永浩史、北里周、渡海大隆、徳永隆幸、竹下浩明、黒木保、谷口堅、田川努、黒濱大和、伊東正博、藤岡ひかる.
研修医・医学生の発表セッション（9）：研修医乳腺・腹部，第117回日本外科学会定期学術集会. 横浜，2017.4.28.
- 19) <ポスター> 食道胃接合部癌と胃上部癌のリンパ節転移像：自験例の検討から.
谷口堅、渡海大隆、糸瀬磨、松村尚美、森山正章、森田道、持永浩史、北里周、徳永隆幸、竹下浩明、黒木保、前田茂人、田川努、伊東正博、藤岡ひかる.
ポスターセッション（90）：胃接合部癌・噴門側胃切除，第117回日本外科学会定期学術集会. 横浜，2017.4.28.
- 20) <ポスター> cT1症例に対するセンチネルリンパ節生検省略は可能か？.
森田道、前田茂人、糸瀬磨、松村尚美、森山正章、持永浩史、北里周、渡海大隆、徳永隆幸、竹下浩明、谷口堅、田川努、藤岡ひかる.
ポスターセッション（152）：乳腺センチネル1，第117回日本外科学会定期学術集会. 横浜，2017.4.28.
- 21) <ポスター> 臍尾部授動・脾門部先行処理による腹腔鏡下脾臓摘出術.
北里周、黒木保、糸瀬磨、松村尚美、森山正章、森田道、持永浩史、渡海大隆、徳永隆幸、竹下浩明、谷口堅、田川努、前田茂人、藤岡ひかる.
ポスターセッション（213）：肝臓・脾臓，第117回日本外科学会定期学術集会. 横浜，2017.4.29.

- 22) <ポスター>胸壁浸潤肺癌への低侵襲アプローチ（肺門部胸腔鏡下処理と切除胸壁直上の皮膚切開）
田川努、持永浩史、土肥良一郎、町野隆介、森野茂行、糸瀬磨、松村尚美、森山正幸、森田道、渡海大隆、北里周、徳永隆幸、竹下浩明、黒木保、谷口堅、前田茂人、藤岡ひかる、辻博治。
ポスターセッション（230）：肺拡大手術，第117回日本外科学会定期学術集会。横浜，2017.4.29.
- 23) <ポスター>バセドウ病術後のカルシウムコントロール。
前田茂人、森田道、松村尚美、糸瀬磨、森山正章、持永浩史、久芳さやか、渡海大隆、北里周、徳永隆幸、黒木保、谷口堅、田川努、藤岡ひかる。
ポスターセッション（242）：甲状腺・副甲状腺，第117回日本外科学会定期学術集会。横浜，2017.4.29.
- 24) <ポスター>縦隔膿瘍に対する炭酸ガス送気併用完全胸腔鏡下ドレナージ術。
持永浩史、森野茂行、辻博治、糸瀬磨、松村尚美、森山正幸、森田道、渡海大隆、北里周、徳永隆幸、竹下浩明、黒木保、谷口堅、前田茂人、藤岡ひかる、田川努。
ポスターセッション（233）：肺手術手技，第117回日本外科学会定期学術集会。横浜，2017.4.29.
- 25) <口演>DEB-TACE後に発症した壊疽性胆嚢炎の一例。
大園太貴、戸次鎮宗、中尾康彦、釘山有希、内田信二郎、橋元悟、佐伯哲、長岡進矢、阿比留正剛、山崎一美、小森敦正、牧野謙二、北里周、黒木保、伊東正博、八橋弘。
専修医発表：胆，第109回日本消化器病学会九州支部例会。福岡，2017.5.19.
- 26) <口演>門脈気腫症を合併した右側虚血性腸炎の一例。
大坪智恵子、一瀬久美、大園太貴、林康平、中尾康彦、福田浩子、後藤高介、中島悠史郎、西山仁、黒濱大和、三原裕美、伊東正博。
専修医発表：大腸2，第109回日本消化器病学会九州支部例会。福岡，2017.5.19.
- 27) <口演発表>クロルヘキシジンアルコール消毒による化学損傷を生じた超低体重出生児の1例。
江口瑞菜、藤岡正樹、石山智子、福井季代子。
第14回日本褥瘡学会九州・沖縄地方会学術集会。長崎，2017.5.20.
- 28) <口演>急性骨髄性白血病治療後に軽快した再発性多発軟骨炎。
川上勲、牧山純也、黒濱大和、北之園英明、中島潤、岩永希、伊東正博、吉田真一郎。
初期研修医6，第317回日本内科学会九州地方会。那覇，2017.5.20.
- 29) <口演>無歯顎・顔面熱傷・気道損傷患者に対する経口挿管チューブ固定の工夫。
藤岡正樹、石山智子、福井季代子。
第43日本熱傷学会総会・学術集会。東京，2017.5.25.
- 30) <口演>外傷性回腸動脈仮性動脈瘤，動静脈瘻及び虚血性小腸炎の一切除例。
樋上翔大、竹下浩明、松村尚美、糸瀬磨、森山正章、森田道、持永浩史、渡海大隆、北里周、徳永隆幸、黒木保、谷口堅、前田茂人、田川努、藤岡ひかる、黒濱大和、伊東正博。
第54回九州外科学会。熊本，2017.5.26.
- 31) <口演>急性膵炎による仮性膵嚢胞を伴った粘液腺癌の一例。
糸瀬磨、黒木保、松村尚美、森山正章、森田道、渡海隆大、北里周、徳永隆幸、竹下浩明、谷口堅、前田茂人、藤岡ひかる。
一般演題：肝臓・悪性疾患1，第54回九州外科学会。熊本，2017.5.27.

- 32) <口演>肝障害度と関連し疾患特異的なヒト自己免疫性肝炎組織内微小免疫環境のトランスクリプトーム解析.
小森敦正、中尾康彦、釘山有希、戸次鎮宗、内田信二郎、橋元悟、佐伯哲、長岡進矢、山崎一美、阿比留正剛、伊東正博、八橋弘.
一般口演23：自己免疫性肝炎1，第53回日本肝臓学会総会. 広島，2017.6.8.
- 33) <口演>DAAs治療後SVR判定例からの肝発がんの検討：発がん寄与因子とSVR直後肝癌の実態.
中尾康彦、山崎一美、八橋弘.
一般口演4：HCV臨床1，第53回日本肝臓学会総会. 広島，2017.6.8.
- 34) <口演>IFNフリー治療における血中脂質代謝マーカーの推移に関する検討—LDL-Cに着目して—.
橋元悟、中尾康彦、釘山有希、戸次鎮宗、内田信二郎、佐伯哲、長岡進矢、阿比留正剛、山崎一美、小森敦正、八橋弘.
一般口演12：HCV臨床8，第53回日本肝臓学会総会. 広島，2017.6.8.
- 35) <口演>原発性胆汁性胆管炎の重症化にカテプシンの果たす役割の検討.
相葉佳洋、原田憲一、相島慎一、伊東正博、人見祐基、西田奈央、小森敦正、八橋弘、中村稔.
一般口演63：PBC, PSC2, 第53回日本肝臓学会総会. 広島，2017.6.9.
- 36) <口演>日本人原発性胆汁性胆管炎（PBC）感受性遺伝子領域Chr.17q12-21における機能的遺伝子多型（causal variant）の同定.
人見祐基、西田奈央、相葉佳洋、安波道郎、中村稔.
一般口演62：PBC, PSC1, 第53回日本肝臓学会総会. 広島，2017.6.9.
- 37) <口演>乳がん検診で指摘され診断に至った乳腺原発MALTリンパ腫.
渡辺春香、牧山純也、黒濱大和、北之園英明、中島潤、三好寛明、伊東正博、大島孝一、吉田真一郎.
第57回日本リンパ網内系学会総会. 東京，2017.6.30.
- 38) <口演>未分化転化を示したBRAFとTERT promoter double mutant甲状腺乳頭癌の1剖検例.
Zhanna Mussazhanova、上木望、黒濱大和、松田勝也、三浦史郎、重野里代子、田中藤信、伊東正博、中島正洋.
症例検討3，第5回日本甲状腺病理学会総会・学術集会. 長崎，2017.7.8.
- 39) <ポスター>進行乳癌潰瘍に対するpalliative surgeryは患者の生活の質を改善する.
藤岡正樹、石山智子、福井季代子.
ポスター掲示13；外科治療 その他，第25回日本乳癌学会学術総会. 福岡，2017.7.13.
- 40) <ポスター>転移・再発乳癌における血中CEA，CA15-3測定の意義はあるのか？.
前田茂人、森田道、久芳さやか.
ポスター掲示7；血清腫瘍マーカー，第25回日本乳癌学会学術総会. 福岡，2017.7.13.
- 41) <口演>外側広筋付き有茎前外側大腿皮弁を用いて下部腹直筋欠損を動的再建した2例.
福井季代子、石山智子、藤岡正樹.
第104回九州・沖縄形成外科学会学術集会. 福岡，2017.7.15.
- 42) <ポスター>FEC（エピルビシン）による血管痛の予防と対策～生理食塩水100mlの追加投与を施行して～.
村上摩利、森田道、久芳さやか、前田茂人.
ポスター掲示73；薬物療法 有害事象と支持療法，第25回日本乳癌学会学術総会. 福岡，2017.7.15.

- 43) <口演>脾彎曲部横行結腸癌に対する大網温存網嚢開放先行手技の安全性, 有用性.
竹下浩明、森山正章、森田道、渡海大隆、北里周、徳永隆幸、黒木保、谷口堅、前田茂人、藤岡ひかる.
要望演題27 ② (ビデオ): 横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術の工夫 2, 第72回日本消化器外科学会総会. 金沢, 2017.7.20.
- 44) <口演>急性胆嚢炎の待機手術の難易度は? ; 抗生剤単独VS胆道ドレナージ.
松村尚美、谷口堅、糸瀬磨、森山正章、渡海大隆、北里周、徳永隆幸、竹下浩明、黒木保、藤岡ひかる.
一般演題 (ミニオーラル): 胆道: 急性胆嚢炎 (治療方針), 第72回日本消化器外科学会総会. 金沢, 2017.7.20.
- 45) <口演>感染性WONに対する鏡視下補助後腹膜Necrosectomyの経験.
北里周、黒木保、糸瀬磨、松村尚美、森山正章、渡海大隆、徳永隆幸、竹下浩明、谷口堅、藤岡ひかる.
般演題 (ミニオーラル): 臍臓: 手術 5, 第72回日本消化器外科学会総会. 金沢, 2017.7.21.
- 46) <口演>Solo-surgeryを目指した携帯型内視鏡手術支援ロボットの開発と臨床応用へ向けて.
黒木保、北里周、徳永隆幸、渡海大隆、竹下浩明、谷口堅、足立智彦、大野慎一郎、藤岡ひかる、江口晋.
一般演題 (ミニオーラル): 総論: 総合 3, 第72回日本消化器外科学会総会. 金沢, 2017.7.21.
- 47) <口演>後腹膜まで壊死が波及した広範囲フルニエ症候群の 1 例.
福井季代子、石山智子、藤岡正樹.
第 9 回日本創傷外科学会総会・学術集会. 東京, 2017.7.21-22.
- 48) <口演>自傷創感染から敗血症性肺塞栓症を来した一例.
岡本渉、藤岡正樹、福井希代子、石山智子、増田太郎、永吉洋介.
第25回長崎救急医学会. 長崎, 2017.9.2.
- 49) <口演>直腸隆癭に起因したフルニエ壊疽の 1 例.
松尾はるか、藤岡正樹、福井季代子、石山智子、山川翔、野口美帆、杉見創、福田浩子、釘山銃太.
第25回長崎救急医学会. 長崎, 2017.9.2.
- 50) <口演>Certolizumab Pegol投与中に間質性肺炎をきたした関節リウマチの一例.
案浦花奈子、岩永希、道辻徹、川原知瑛子、寶來吉朗、和泉泰衛、久富恵子、伊東正博、川上純.
一般演題 1 ; RA(1), 第54回九州リウマチ学会. 北九州, 2017.9.2.
- 51) <口演>全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群に合併したタンパク漏出性胃腸症の一例.
江口瑞奈、岩永希、酒井洸典、道辻徹、川原知瑛子、小林仁美、森隆浩、寶來吉朗、和泉泰衛、伊東正博、川上純.
一般演題 6 ; SLE/SS (2), 第54回九州リウマチ学会. 北九州, 2017.9.2.
- 52) <口演>腹水のコントロール困難であったTAFRO症候群の一例.
大塚開希、岩永希、道辻徹、川原知瑛子、寶來吉朗、大野直義、和泉泰衛、伊東正博、川上純.
一般演題 8 ; IgG4-RD, 第54回九州リウマチ学会. 北九州, 2017.9.3.
- 53) <口演>筋症状で発症したサルコイドーシスの一例.
渡辺春香、岩永希、道辻徹、川原知瑛子、寶來吉朗、和泉泰衛、伊東正博、川上純.
一般演題12 ; AOSD/AIS/sarcoidosis, 第54回九州リウマチ学会. 北九州, 2017.9.3.

- 54) <口演>術前化学療法により腹腔鏡補助下に切除し得た他臓器浸潤進行S状結腸癌の1例。
山下真理子、竹下浩明、松村尚美、釘山統太、平山昂仙、北里周、徳永隆幸、黒木保、谷口堅、藤岡ひかる。
一般演題；大腸癌・化学療法，第42回大腸肛門病学会九州地方会。熊本，2017.9.16.
- 55) <口演>日本人原発性胆汁性胆管炎における黄疸型進行関連遺伝子の同定と発現・機能解析。
相葉佳洋、西田奈央、人見祐基、川嶋実苗、徳永勝士、中村稔。
研究奨励賞セッション，第45回日本臨床免疫学会総会。東京，2017.9.29.
- 56) <ポスター>DEB-TACE後に発症した壊疽性胆嚢炎の1例。
北里周、黒木保、山下真理子、松村尚美、平山昂仙、釘山統太、徳永隆幸、竹下浩明、谷口堅、前田茂人、藤岡ひかる。
ポスター23；胆嚢炎，第53回日本胆道学会学術集会。山形，2017.9.29.
- 57) <口演>急性胆嚢炎に対する待機的腹腔鏡下胆嚢摘出術の検討。
黒木保、北里周、藤岡ひかる。
口演40；ラパ胆2，第53回日本胆道学会学術集会。山形，2017.9.29.
- 58) <口演>80歳以上高齢者肝胆膵悪性腫瘍に対する手術治療－当科における現状－。
北里周、黒木保、山下真理子、松村尚美、釘山統太、平山昂仙、徳永隆幸、竹下浩明、谷口堅、前田茂人、藤岡ひかる。
主題：高齢者（80歳以上）の肝胆膵悪性腫瘍に対する治療の現状，第33回長崎肝・胆道・膵外科研究会。長崎，2017.10.7.
- 59) <ポスター>原発性副甲状腺機能亢進症に対する外科的治療の意義。
前田茂人、釘山統太、山下真理子、松村尚美、平山昂仙、北里周、徳永隆幸、竹下浩明、黒木保、谷口堅、藤岡ひかる。
一般ポスター：基礎・副甲状腺，第60回日本甲状腺学会学術集会。別府，2017.10.7.
- 60) <ポスター>膵胃吻合を伴う幽門輪温存膵頭十二指腸切除後に発症した胃癌の切除経験。
渡海大隆、谷口堅、糸瀬磨、松村尚美、森山正章、森田道、北里周、徳永隆幸、竹下浩明、黒木保、前田茂人、藤岡ひかる。
デジタルポスターセッション9；胃（手術治療（悪性））2，第15回日本消化器外科学会大会（JDDW2017）。福岡，2017.10.12.
- 61) <ポスター>当院におけるIFNフリー治療成績とSVR後の展望 ～治療後脂質異常症に着目して～。
橋元悟、中尾康彦、釘山有希、戸次鎮宗、内田信二郎、佐伯哲、長岡進矢、阿比留正剛、山崎一美、小森敦正、八橋弘。
デジタルポスターセッション36；C型肝炎（治療）13，第21回日本肝臓学会大会（JDDW2017）。福岡，2017.10.13.
- 62) <ポスター>肝細胞癌患者の予後予測における血中M2BPGiの有用性の検討。
戸次鎮宗、中尾康彦、釘山有希、内田信二郎、橋元悟、佐伯哲、長岡進矢、阿比留正剛、山崎一美、小森敦正、八橋弘。
デジタルポスターセッション40；肝硬変・肝線維化1，第21回日本肝臓学会大会（JDDW2017）。福岡，2017.10.13.

- 63) <ポスター>ESDで非治癒となった早期胃癌で経過観察は許容できるか。－eCura systemに基づいた検討－。
大仁田賢、山口直之、赤澤祐子、吉田亮、岩崎啓介、福田浩子、西山仁、伊東正博、中尾一彦。
デジタルポスターセッション73；胃（ESD）5，第94回日本消化器内視鏡学会総会（JDDW2017）。
福岡，2017.10.14.
- 64) <ポスター>サルベージラインでのロンサーフの有効性と副作用対策。
竹下浩明、野中隆、富永哲郎、山下真理子、松村尚美、平山昂仙、釘山統太、町野隆介、北里周、
徳永隆幸、黒木保、谷口堅、前田茂人、田川努、藤岡ひかる。
第55回日本癌治療学会。横浜，2017.10.20.
- 65) <口演>甲状腺低分化癌の1例。
伊東正博、松本桂子。
日本甲状腺病理学会共同企画1：診療に難渋した甲状腺・副甲状腺症例の検討，第50回日本甲状腺
外科学会学術集会。福島，2017.10.26.
- 66) <口演>無症候性の原発性副甲状腺機能亢進症に対する外科的治療効果。
前田茂人、釘山統太、山下真理子、松村尚美、平山昂仙、北里周、徳永隆幸、竹下浩明、黒木保、
谷口堅、伊東正博、藤岡ひかる。
一般演題；副甲状腺，第50回日本甲状腺外科学会学術集会。福島，2017.10.26.
- 67) <ポスター>成人発症2型シトルリン血症患者に対して行った栄養管理の1例。
荒木翔太、西見成美、近藤高弘、春田典子、釘山有希、阿比留正剛。
栄養・NST・褥瘡5，第71回国立病院総合医学会。高松，2017.11.10.
- 68) <ポスター>クロルヘキシジンアルコール製剤による化学損傷を生じた超低体重出生児の1例。
江口瑞菜、藤岡正樹、福井季代子、山川翔、松尾はるか、野口美帆、石山智子。
皮膚疾患，第71回国立病院総合医学会。高松，2017.11.10.
- 69) <ポスター>肘部尺骨神経に神経腫と神経鞘腫が隣接して発症した一例。
野口美帆、福井季代子、石山智子、山川翔、松尾はるか、藤岡正樹。
神経・筋疾患（筋ジストロフィー）6，第71回国立病院総合医学会。高松，2017.11.10.
- 70) <ポスター>苛性ソーダによるアルカリ損傷の2例。
福井季代子、藤岡正樹、石山智子、山川翔、松尾はるか、野口美帆。
皮膚疾患，第71回国立病院総合医学会。高松，2017.11.10.
- 71) <ポスター>後腹膜腔まで壊死が波及した広範囲フルニエ症候群の1例。
福井季代子、藤岡正樹、石山智子、山川翔、松尾はるか、野口美帆。
皮膚疾患，第71回国立病院総合医学会。高松，2017.11.10.
- 72) <ポスター>抗リウマチ薬投与中に生じた，炎症反応上昇を伴わない壊死性筋膜炎の1例。
福井季代子、藤岡正樹、石山智子、山川翔、松尾はるか、野口美帆。
皮膚疾患，第71回国立病院総合医学会。高松，2017.11.10.
- 73) <ポスター>人工血管露出を伴う頸部感染性潰瘍に対して有茎広背筋皮弁で創鎖した1例。
福井季代子、藤岡正樹、石山智子、山川翔、松尾はるか、野口美帆。
皮膚疾患，第71回国立病院総合医学会。高松，2017.11.10.

- 74) <ポスター>直腸腫瘍に起因したフルニエ壊疽の1例.
松尾はるか、藤岡正樹、福井季代子、石山智子、山川翔、野口美帆、釘山統太、杉見創、福田浩子.
免疫, 感染症-3 その他, 第71回国立病院総合医学会. 高松, 2017.11.10.
- 75) <ポスター>放射線障害を伴う背部平滑筋肉腫に対して分割広背筋皮弁による胸壁再建を行った一例.
松尾はるか、藤岡正樹、福井季代子、石山智子、森彩加、山川翔、野口美帆、持永浩史、田川努.
皮膚疾患, 第71回国立病院総合医学会. 高松, 2017.11.10.
- 76) <口演>潰瘍性大腸炎手術後の長期経過例の検討ーパウチ関連合併症とpouchitisのマネージメントー.
竹下浩明、野中隆、富永哲郎、山下真理子、松村尚美、平山昂仙、釘山統太、町野隆介、北里周、
徳永隆幸、黒木保、谷口堅、前田茂人、田川努、藤岡ひかる.
潰瘍性大腸炎の術後長期経過, 第72回日本大腸肛門病学会. 福岡, 2017.11.10.
- 77) <ポスター>S状結腸癌の多発骨転移・骨髄癌症によるDICに対して、トロンボモジュリン製剤と
化学療法が有効であった一例.
山下真理子、竹下浩明、松村尚美、釘山統太、平山昂仙、町野隆介、北里周、徳永隆幸、黒木保、
谷口堅、前田茂人、田川努、藤岡ひかる.
第72回日本大腸肛門病学会. 福岡, 2017.11.10.
- 78) <口演>治療抵抗性の急速進行性糸球体腎炎、肺胞出血を呈した顕微鏡的多発血管炎の一部検例.
阿部千鶴、岩永希、酒井洸典、白濱つづり、道辻徹、古川愛子、足立美沙、川崎智子、久富恵子、
山田成美、和泉泰衛、伊東正博.
口演103; 免疫, 感染症-3 その他, 第71回国立病院総合医学会. 高松, 2017.11.11.
- 79) <口演>扁平上皮癌を合併した線毛性前腸性肝嚢胞 (ciliated hepatic foregut cyst) の一例.
倉田博基、大坪智恵子、白濱つづり、梅崎靖、三原裕美、黒木保、藤本俊史、伊東正博.
口演61; 消化器, 肝・胆・膵疾患 3, 第71回国立病院総合医学会. 高松, 2017.11.11.
- 80) <ポスター>食道癌切除後の再建胃管に対する静脈吻合付加は術後の吻合部狭窄を減少させる.
福井季代子、藤岡正樹、石山智子、山川翔、松尾はるか、野口美帆、谷口堅.
消化器, 肝・胆・膵疾患 1, 第71回国立病院総合医学会. 高松, 2017.11.11.
- 81) <ポスター>Gustilo-Anderson type II下腿骨折に対するFix and Flap procedureの試み.
藤岡正樹、福井季代子、石山智子、野口美帆、山川翔、松尾はるか、崎村俊之.
骨・運動器・リウマチ 外傷・腫瘍 (骨・軟部), 第71回国立病院総合医学会. 高松, 2017.11.11.
- 82) <ポスター>Gustilo-Anderson type IIIC四肢開放骨折に対するflow-through型遊離前外側大腿
皮弁移植による血管・軟部組織同時再建.
藤岡正樹、福井季代子、石山智子、野口美帆、山川翔、松尾はるか、林田建志、西條広人.
骨・運動器・リウマチ 外傷・腫瘍 (骨・軟部), 第71回国立病院総合医学会. 高松, 2017.11.11.
- 83) <ポスター>前腕の軽微な自損傷から生じたSeptic pulmonary embolism.
藤岡正樹、福井季代子、石山智子、野口美帆、山川翔、松尾はるか.
骨・運動器・リウマチ 外傷・腫瘍 (骨・軟部), 第71回国立病院総合医学会. 高松, 2017.11.11.
- 84) <ポスター>無歯顎患者が顔面熱傷・気道損傷を負った場合の経口挿管チューブ固定の工夫.
藤岡正樹、福井季代子、石山智子、野口美帆、山川翔、松尾はるか.
救急・集中治療 2, 第71回国立病院総合医学会. 高松, 2017.11.11.

- 85) <ポスター>抗がん剤曝露対策に関する当院の取組み.
吉村裕美、村上摩利、富永美希、植村隆、佐伯哲.
看護管理・看護業務・看護方式・看護体制 がん看護 他, 第71回国立病院総合医学会. 高松, 2017.11.11.
- 86) <口演>化学療法によりR0切除し得たダグラス窩転移合併盲腸癌の一例.
西原敬仁、竹下浩明、山下真理子、松村尚美、釘山統太、平山昂仙、北里周、徳永隆幸、黒木保、谷口堅、前田茂人、藤岡ひかる、伊東正博.
研修医発表; 大腸 4, 第110回日本消化器病学会九州支部例会. 那覇, 2017.11.17.
- 87) <口演>高TG血症を誘因として発症した妊娠期重症急性膵炎の1例.
阿部千鶴、中尾康彦、中村裕、釘山有希、戸次鎮宗、橋元悟、佐伯哲、長岡進矢、阿比留正剛、山崎一美、小森敦正、八橋弘.
研修医発表; 胆・膵 2, 第110回日本消化器病学会九州支部例会. 那覇, 2017.11.17.
- 88) <口演>肝炎発症前の超急性期から詳細に経過観察したB型急性肝炎の一例.
岡本渉大、山崎一美、中尾康彦、釘山有希、中村裕、戸次鎮宗、橋元悟、佐伯哲、長岡進矢、阿比留正剛、小森敦正、八橋弘.
研修医発表; 肝 1, 第110回日本消化器病学会九州支部例会. 那覇, 2017.11.17.
- 89) <口演>粘膜下腫瘍様の形態を呈した胃癌の一例.
岡本渉大、永松雅朗、大園太貴、小林仁美、福田浩子、後藤高介、中島悠史郎、佐伯哲、西山仁、谷口堅、伊東正博、二村聡.
研修医発表; 胃・十二指腸 3, 第110回日本消化器病学会九州支部例会. 那覇, 2017.11.17.
- 90) <口演>JAK2V617F変異陽性原発性肝外門脈閉塞症の一例.
門松真千、中尾康彦、中村裕、釘山有希、戸次鎮宗、橋元悟、佐伯哲、長岡進矢、阿比留正剛、山崎一美、小森敦正、八橋弘.
研修医発表; 肝 2, 第110回日本消化器病学会九州支部例会. 那覇, 2017.11.17.
- 91) <口演>緊急止血術を要した小腸Gastrointestinal stromal tumorの一例.
山下由恵、平山昂仙、谷口堅、山下真理子、松村尚美、釘山統太、町野隆介、北里周、徳永隆幸、竹下浩明、黒木保、前田茂人、伊東正博、藤岡ひかる.
研修医発表; 小腸 3, 第110回日本消化器病学会九州支部例会. 那覇, 2017.11.17.
- 92) <口演>繰り返す意識障害を契機に診断されたラオス人CTLN2の1例.
釘山有希、阿比留正剛、矢崎正英、中尾康彦、中村裕、戸次鎮宗、橋元悟、佐伯哲、長岡進矢、山崎一美、小森敦正、八橋弘.
一般演題; 肝 3, 第110回日本消化器病学会九州支部例会. 那覇, 2017.11.18.
- 93) <口演>DAA治療後に局所再発として診断された、HCC/PHNEC混合型肝癌の一部検例.
中尾康彦、中村裕、釘山有希、戸次鎮宗、橋元悟、佐伯哲、長岡進矢、阿比留正剛、山崎一美、小森敦正、八橋弘.
一般演題; 肝 4, 第110回日本消化器病学会九州支部例会. 那覇, 2017.11.18.
- 94) <口演>線毛性前腸性肝嚢胞より発生した扁平上皮癌の一切除例 本邦初の悪性化報告.
糸瀬磨、黒木保、北里周、山下真理子、松村尚美、釘山統太、平山昂仙、徳永隆幸、竹下浩明、谷口堅、前田茂人、藤岡ひかる.
一般演題; 肝臓・悪性疾患 1, 第79回日本臨床外科学会総会. 東京, 2017.11.23.

- 95) <口演>DAAs (IFNfree) 治療直後の新規肝発癌と肝癌再発に関する検討.
中尾康彦、釘山有希、戸次鎮宗、橋元悟、佐伯哲、長岡進矢、阿比留正剛、山崎一美、小森敦正、八橋弘.
一般演題11; C型肝炎 4, 第42回日本肝臓学会西部会. 福岡, 2017.11.30.
- 96) <口演>非B非C型肝炎細胞癌患者の予後予測における血中M2BPGiの有用性の検討.
戸次鎮宗、中尾康彦、中村裕、釘山有希、橋元悟、佐伯哲、長岡進矢、阿比留正剛、山崎一美、小森敦正、八橋弘.
一般演題21; 肝癌 3, 第42回日本肝臓学会西部会. 福岡, 2017.11.30.
- 97) <口演>腹腔鏡補助下臍頭十二指腸切除術後患者の術創部自己評価に関する検討.
北里周、黒木保、大野慎一郎、曾山明彦、足立智彦、日高匡章、高槻光寿、藤岡ひかる、江口晋.
サージカルフォーラム58; 臍臓 2 治療成績 1, 第30回日本内視鏡外科学会総会. 京都, 2017.12.8.
- 98) <ポスター>網温存・網嚢開放先による腹腔鏡下脾弯曲側横結腸癌術.
竹下浩明、山下真理子、松村尚美、釘山統太、平山昂仙、町野隆介、北里周、徳永隆幸、黒木保、谷口堅、前田茂人、田川努、藤岡ひかる.
ePoster64; 大腸悪性12, 第30回日本内視鏡外科学会総会. 京都, 2017.12.8.
- 99) <ポスター>胃癌の臍後部リンパ節, 上行結腸転移に対してmFOLFFOX6療法後に腹腔鏡下に手術を行った一例.
山下真理子、竹下浩明、松村尚美、釘山統太、平山昂仙、北里周、黒木保、谷口堅、前田茂人.
ePoster104; 胃・十二指腸悪性19, 第30回日本内視鏡外科学会総会. 京都, 2017.12.8.

研究発表会

B-c: 研究会発表 (26)

- 1) 当院におけるヴィキラックス治療の現況～IFNフリー治療における脂質代謝マーカーに着目して～.
橋元悟、中尾康彦、釘山有希、戸次鎮宗、内田信二郎、佐伯哲、長岡進矢、阿比留正剛、山崎一美、小森敦正、八橋弘.
一般演題 1, Expert Meeting Nagasaki. 長崎, 2017.1.12.
- 2) 多発性結節性血管炎の 1 剖検例.
伊東正博、岩永希、和泉泰衛.
第542回臨床病理懇話会. 大村, 2017.1.18.
- 3) 肘部尺骨神経に神経腫と神経鞘腫が隣接して発症した 1 例.
野口美帆、藤岡正樹、福井季代子、石山智子.
長崎手の外科研究会. 長崎, 2017.2.7.
- 4) C型肝炎患者の現況.
山崎一美.
Session1: C型慢性肝炎/肝硬変の実態, 第13回九州C型肝炎研究会 (KCK2017). 福岡, 2017.2.11.
- 5) 長崎県県央の基幹病院における炎症性腸疾患に対する最新の外科治療 - クローン病に対する腹腔鏡下手術と側々吻合・Kono-S吻合の短期成績 -.
竹下浩明、糸瀬磨、松村尚美、森山正章、森田道、渡海大隆、北里周、徳永隆幸、黒木保、谷口堅、前田茂人、藤岡ひかる.
第26回県央地区外科研究会. 諫早, 2017.2.16.

- 6) DAA治療後のHCCの検討.
中尾康彦.
一般・特集演題：脂肪肝等からの発癌症例・新規DAA製剤の所見. 第45回福岡肝疾患・感染症治療研究会. 小倉, 2017.2.25.
- 7) DAAs治療後の肝発癌の検討.
中尾康彦.
第7回DAA研究会. 宮崎, 2017.3.04.
- 8) C型肝炎を診るためにAIHを学ぶ；比較肝分子炎症学事始め.
小森敦正.
Session1, Fukuoka Liver Science Forum. 福岡, 2017.3.11.
- 9) 線毛性前腸性肝嚢胞扁平上皮癌に対して肝左葉切除を施行した一例：本邦初の悪性化の報告.
糸瀬磨、黒木保、松村尚美、森山正章、森田道、渡海大隆、北里周、徳永隆幸、竹下浩明、谷口堅、前田茂人、藤岡ひかる、持永浩史、田川努、黒濱大和、三原裕美、伊東正博.
肝胆膵, 第248回長崎外科集談会. 長崎, 2017.3.11.
- 10) 10代甲状腺癌の1例.
大塚開希、森田道、糸瀬磨、松村尚美、森山正章、渡海大隆、北里周、徳永隆幸、竹下浩明、黒木保、谷口堅、前田茂人、藤岡ひかる、持永浩史、田川努.
乳腺・内分泌, 第248回長崎外科集談会. 長崎, 2017.3.11.
- 11) 術中に気管憩室を損傷した食道癌の1切除例.
中村俊介、谷口堅、渡海大隆、糸瀬磨、松村尚美、森山正章、森田道、北里周、徳永隆幸、竹下浩明、黒木保、前田茂人、藤岡ひかる、持永浩史、田川努、伊東正博.
上部消化管, 第248回長崎外科集談会. 長崎, 2017.3.11.
- 12) 幽門輪温存膵頭十二指腸切除・膵胃吻合後に噴門癌を認めた1例.
中村俊貴、渡海大隆、谷口堅、糸瀬磨、松村尚美、森山正章、森田道、北里周、徳永隆幸、竹下浩明、黒木保、前田茂人、藤岡ひかる、持永浩史、田川努、伊東正博.
上部消化管, 第248回長崎外科集談会. 長崎, 2017.3.11.
- 13) 腹壁膿瘍を契機に発見された下行結腸癌の1例.
樋上翔大、森山正章、徳永隆幸、糸瀬磨、松村尚美、森田道、北里周、渡海大隆、竹下浩明、黒木保、谷口堅、前田茂人、藤岡ひかる、持永浩史、田川努.
下部消化管 (2), 第248回長崎外科集談会. 長崎, 2017.3.11.
- 14) 細胞工学を応用した皮下膵島移植に向けての実験的検討.
足立智彦、平原正隆、松島肇、今村一步、足立利幸、堺祐輔、川上悠介、大野慎一郎、夏田孔史、曾山明彦、日高匡章、高槻光寿、黒木保、金達也、江口晋.
アワードセッション：基礎, 第44回日本膵・膵島移植研究会. 京都, 2017.3.11.
- 15) Perforator flap tipをNecらせないための2カ条.
藤岡正樹、石山智子、福井季代子.
第101回長崎形成外科懇話会. 長崎, 2017.5.13.
- 16) <ディスカッション>今後の肝細胞癌治療について.
橋元悟.
九州リバーフォーラム. 福岡, 2017.6.15.

- 17) 治療抵抗性悪性リンパ腫に腎機能障害を来した一例.
伊東正博、中島潤、川崎智子.
第543回臨床病理懇話会. 大村, 2017.6.21.
- 18) Circumportal pancreasを伴う膵頭部NETに対する腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術.
足立智彦、大野慎一郎、足立利幸、山下万平、原貴信、曾山明彦、日高匡章、金高賢吾、高槻光寿、黒木保、江口晋.
第6回日本肝胆膵内視鏡外科研究会サマーセミナー. 沖縄, 2017.6.30.
- 19) 腹腔鏡下膵切除術におけるdifficulty score.
大塚隆生、伴大輔、中村慶春、永川裕一、田邊稔、仲田興平、森川孝則、川合学、本田五郎、黒木保、高折恭一、三澤健之、若林剛、山上裕機、山本雅一、中村雅史.
第6回日本肝胆膵内視鏡外科研究会サマーセミナー. 沖縄, 2017.6.30.
- 20) C型肝炎に対するIFNフリー治療における脂質代謝マーカーの検討～続報～.
橋元悟、中尾康彦、釘山有希、中村裕、戸次鎮宗、佐伯哲、長岡進矢、阿比留正剛、山崎一美、小森敦正、八橋弘.
第8回DAA研究会. 仙台, 2017.7.15.
- 21) IFNフリー治療における血中脂質代謝マーカーの推移に関する検討—LDL-Cに着目して—.
八橋弘.
肝炎セッション; 肝炎に対する抗ウイルス治療と病態の可塑性, 第4回みなとまちフォーラム.
東京, 2017.8.5.
- 22) 今更聞けないDog ear deformityの本質について考えてみました.
藤岡正樹、福井季代子、山川翔、石山智子、松尾はるか、野口美帆.
第104回長崎形成外科懇話会. 長崎, 2017.9.2.
- 23) 直腸腫瘍に起因したフルニエ壊疽の1例.
山川翔、藤岡正樹、福井季代子、石山智子、松尾はるか、野口美帆、杉見創、福田浩子、釘山銃太.
第104回長崎形成外科懇話会. 長崎, 2017.9.2.
- 24) 九州地域における肝癌発生状況について—九州肝癌研究会からの報告—.
八橋弘.
第1回Liver Frontier One. 久留米, 2017.9.2.
- 25) solo-surgeryを目指した奥歯の噛み締めと頭部傾斜を操作入力に用いる携帯ロボット型内視鏡ホルダの開発.
黒木保、黒木保、北里周、徳永隆幸、渡海大隆、竹下浩明、谷口堅、足立智彦、大野慎一郎、藤岡ひかる、江口晋.
一般演題(4). 第11回日本先進内視鏡治療研究会. 福岡, 2017.10.14.
- 26) 頭部運動と噛み締めを操作信号とするロボット型内視鏡操作支援機器の操作性改善の検討.
塚本稜司、江連諒、金香紀、安藤凜太郎、本田拓海、諸麥俊司、足立智彦、黒木保、大野慎一郎、北里周.
第18回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会(SI2017). 仙台, 2017.12.20.

学 術 講 演

C-a：学術講演＜国際＞(2)

- 1) <Lecture>B型肝炎ウイルスマーカーに関する長崎医療センターでの研究成果.
Yatsushashi H.
The 3rd Asian Workshop for Hepatitis B Virus Markers, Shanghai. Shanghai China, 2017.2.18.
- 2) <Lecture>Is M2BPGi a Predictive Marker of HCC development in patients with HCV?.
Yamasaki K.
Evening Seminar 2, The Asian Pacific Association for the Study of the Liver Single Topic Conference. (APASL STC) 2017 Nagasaki. sasebo, 2017.4.11.

C-b：学術講演＜国内＞(56)

- 1) <講演>ウイルス性肝炎の治療と発癌抑止－最新のトピックス－.
八橋弘.
特別講演, 第26回佐賀県肝癌対策医会. 佐賀, 2017.1.27.
- 2) <講演>DAAs治療後の問題－高LDL血症と肝発癌－.
八橋弘.
特別講演 1, 第4回長崎DAAs研究会学術講演会. 長崎, 2017.3.2.
- 3) <講演>JBCRG M05 臨床試験登録のコツ.
前田茂人.
Japan Breast Cancer Research Group九州エリア会議. 福岡, 2017.3.4.
- 4) <講演>肝疾患患者の握力測定.
内田信二郎.
ミニレクチャー, 第10回長崎「肝と栄養を考える会」. 長崎, 2017.3.9.
- 5) <講演>B型肝炎, C型肝炎からの発癌予測－M2BPGiの有用性－.
八橋弘.
特別講演, 第4回山口シスメックス肝炎セミナー. 山口, 2017.3.11.
- 6) <講演>B型肝炎およびC型肝炎の治療最新情報について.
八橋弘.
肝炎専門医療従事者研修会. 佐賀, 2017.3.13.
- 7) <講演>B型肝炎治療の問題点と核酸アナログ治療に求められること.
八橋弘.
HBV Expert Meeting. 東京, 2017.4.2.
- 8) <講演>腹腔鏡下手術において外科医が求める麻酔環境とは－筋弛緩からコミュニケーションまで－.
黒木保.
特別講演Ⅱ, Nippon Neuromuscular Meeting 第7回学術集会. 東京, 2017.4.22.

- 9) <講演>肝線維化マーカーを指標とした肝炎・肝癌のマネジメント.
山崎一美.
ランチョンセミナー30；第103回日本消化器病学会総会. 東京, 2017.4.22.
- 10) <教育講演>形成外科では眼もとぱっちりしたり、胸を大きくしたりしません。でも年間800手術
しています。
藤岡正樹.
第36回長崎県診療情報管理研究会. 大村, 2017.4.22.
- 11) <講演>C型肝炎治癒後の代謝疾患対策、発癌対策.
八橋弘.
特別講演②, 長崎肝疾患, 代謝, 糖尿病セミナー. 長崎, 2017.4.24.
- 12) <講演>肝臓疾患に関わる代謝と栄養について.
八橋弘.
平成29年度長崎市職員研修. 長崎, 2017.4.24.
- 13) <講演>腹腔鏡下手術における快適な手術環境を目指してー筋弛緩からコミュニケーションまでー.
黒木保.
ランチョンセミナー 8, 第117回日本外科学会定期学術集会. 横浜, 2017.4.27.
- 14) <講演>ウイルス性肝疾患の最新治療.
八橋弘.
特別講演, 第1回OCASL講演会. 岡山, 2017.4.27.
- 15) <系統講義>放射線被曝の病理.
伊東正博.
福岡大学医学部. 福岡, 2017.5.12.
- 16) <講演>DAA治療後の問題 –高LDL血症と肝発癌–.
八橋弘.
特別講演, Expert Meeting in SASEBO. 佐世保, 2017.5.17.
- 17) <講演>検査値から肝臓病患者の未来を予測する –HCV駆除後の肝発がんを含めて–.
八橋弘.
特別講演, シスメックス肝診療セミナー in 佐賀. 佐賀, 2017.5.23.
- 18) <講演>B型肝炎の最新の診断と治療～患者アンケート調査からわかったこと～.
八橋弘.
宮崎県B型肝炎訴訟原告団主催・医療講演会. 宮崎, 2017.5.27.
- 19) <講演>IFNフリー治療は脂質代謝マーカーへ影響を与える.
橋元 悟.
県央地区Liver Forum. 大村, 2017.5.31.
- 20) <講演>甲状腺の病理細胞診と小児甲状腺がんの病理.
伊東正博.
甲状腺超音波検査講習会. 郡山, 2017.6.4.

- 21) <講演>B型肝炎の自然経過と治療- HBs抗原の観点から.
八橋弘.
ランチョンセミナー 9, 第53回日本肝臓学会総会. 広島, 2017.6.8.
- 22) <講演>肝疾患における利尿剤の使い方・握力測定・身体障害者手帳について.
八橋弘.
特別講演, 筑紫消化器疾患研究会2017. 福岡, 2017.6.21.
- 23) <系統講義>肝臓胆道病理総論.
伊東正博.
長崎大学医学部. 長崎, 2017.6.21.
- 24) <講演>DAA治療後の問題 -高LDL血症と肝発癌-.
八橋弘.
特別講演, C型肝炎病診連携セミナー. 熊本, 2017.6.28.
- 25) <講演>B型肝炎の正しい知識と最新治療.
八橋弘.
B型肝炎, 医療講演会. 佐賀, 2017.7.2.
- 26) <講演>腎機能を考慮した肝性浮腫治療について.
八橋弘.
特別講演, 南空知医師会学術講演会~肝性浮腫治療を考察する~. 岩見沢, 2017.7.6.
- 27) <講演>ウイルス性肝疾患の最新治療.
八橋弘.
特別講演, 諫早医師会学術講演会. 諫早, 2017.7.14.
- 28) <講演>ウイルス性肝疾患の最新治療.
八橋弘.
特別講演, 東神戸消化器疾患講演会. 神戸, 2017.7.20.
- 29) <講演>肝疾患患者相談支援システムの実践.
八橋弘.
平成29年度第1回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会. 東京, 2017.7.21.
- 30) <講演>検査値から肝臓病患者の未来を予測する -HCV駆除後の肝発がんを含めて-.
八橋弘.
特別講演, シスメックス肝診療セミナー in 福岡 2017. 福岡, 2017.7.28.
- 31) <講演>ウイルス性肝疾患の最新治療.
八橋弘.
特別講演, 岩国肝疾患ゼミナール. 岩国, 2017.8.3.
- 32) <講演>肝臓がんについて.
阿比留正剛.
テーマ: 肝臓がん これを知らなきゃいカンゾウ!, 第5回長崎医療センター市民公開講座 がんフォーラム. 大村, 2017.8.5.
- 33) <講演>膵臓がんについて.
佐伯 哲.
テーマ: 肝臓がん これを知らなきゃいカンゾウ!, 第5回長崎医療センター市民公開講座 がんフォーラム. 大村, 2017.8.5.

- 34) <講演>質量分析装置の実臨床1.
八橋弘.
九州メタボローム研究会. 福岡, 2017.8.25.
- 35) <講演>検査値から肝臓病患者の未来を予測する -HCV駆除後の肝発がんを含めて-.
八橋弘.
特別講演. シスメックス肝診療セミナー in 熊本 2017. 熊本, 2017.9.1.
- 36) <講演>肝硬変の自然経過と治療介入～サムスカの位置づけ～.
八橋弘.
特別講演. 第7回福井肝臓栄養フォーラム. 福井, 2017.9.7.
- 37) <講演>Opening Lecture.
八橋弘.
長崎肝炎セミナー. 長崎, 2017.9.12.
- 38) <講演>ウイルス性肝疾患 up-to-date.
長岡進矢.
特別講演, 長崎県北肝炎を考える会. 佐世保, 2017.9.13.
- 39) <講演>肝硬変の自然経過と治療介入～サムスカの位置づけ～.
八橋弘.
特別講演, 香川肝疾患セミナー. 高松, 2017.9.19.
- 40) <講演>あなどれない脂肪肝、ウイルス駆除後の注意点.
八橋弘.
テーマ;生活習慣病と肝臓病, 一般社団法人日本肝臓学会主催 肝がん撲滅運動 市民公開講座.
大村, 2017.9.21.
- 41) <講演>B型肝炎の自然経過と治療 -HBs抗原量を中心として-.
八橋弘.
講演②, 第9回沖縄肝炎セミナー. 那覇, 2017.9.29.
- 42) <講演>肝硬変について (B・C型) -診断・病態・自然経過・治療・治療効果・予後.
八橋弘.
平成29年度肝炎ウイルスに関する相談員養成研修会. 東京, 2017.9.29.
- 43) <講演>緑茶と健康, 長寿に向かって.
小森敦正.
基調講演:「健康寿命を延ばそう」～今、私たちにできること, 長崎川棚医療センター 市民公開講座「住み慣れた場所で生き生き暮らすために」. 東彼杵, 2017.9.30.
- 44) <講演>握力の実態と有用性.
八橋弘.
Session 2 肝硬変とサルコペニア; 【1】日本肝臓学会・サルコペニア判定基準のバリデーション part 2, 第6回肝とサルコペニアを考える会. 東京, 2017.9.30.
- 45) <講演>B型肝炎からの卒業への道のり.
八橋弘.
特別講演, 宮崎内科講演会. 宮崎, 2017.10.6.

- 46) <講演>B型肝炎ウイルスマーカーに関する長崎医療センターでの研究成果.
山崎一美.
各施設より評価データ発表, 第5回B型肝炎ウイルスマーカー研究会. 福岡, 2017.10.13.
- 47) <講演>なぜB型肝炎患者はS抗原消失を切望するのか.
八橋弘.
B型肝炎抗ウイルス療法の意義と価値, JDDW2017Fukuoka サテライトシンポジウム100. 福岡, 2017.10.14.
- 48) <講演>当院におけるIFNフリー治療の現状～IFNフリー治療成績およびLDL-Cに関して～.
橋元悟、大園太貴、中尾康彦、中村裕、戸次鎮宗、佐伯哲、長岡進矢、阿比留正剛、山崎一美、小森敦正、八橋弘.
一般講演, Expert Meeting in Nagasaki. 長崎, 2017.10.17.
- 49) <講演>C型肝炎、ウイルス駆除後も注意すべきこと.
八橋弘.
特別講演2, 平成29年度第3回兵庫肝疾患診療連携フォーラム. 兵庫, 2017.10.28.
- 50) <講演>検査値から肝臓病患者の未来を予測する –HCV駆除後の肝発がんを含めて–.
八橋弘.
特別講演2, シスメックス肝診療セミナー in 沖縄 2017. 那覇, 2017.11.18.
- 51) <講演>C型肝炎の治療対象はすべての患者さんです.
八橋弘.
講演2, 長崎県臨床内科医会 C型肝炎撲滅セミナー. 「C型肝炎撲滅に向けて」 –かかりつけ医と肝臓専門医と患者さんが三人四脚で治療に取り組むために–. 長崎, 2017.11.21.
- 52) <講演>100年時代のC型肝炎治療戦略 –ウイルス駆除が長寿社会に与えるインパクト–.
八橋弘.
特別講演2, Abbott Hepatitis Seminar 2017. 東京, 2017.11.24.
- 53) <講演>100年時代のC型肝炎治療戦略、ウイルス駆除が長寿社会に与えるインパクト.
八橋弘.
ランチョンセミナー2, 第108回日本消化器病学会中国支部例会・第119回日本消化器内視鏡学会中国支部例会. 宇部, 2017.11.25.
- 54) <講演>DAAs 治療後の問題点～発癌と高脂血症～.
八橋弘.
ランチョンセミナー3, 第42回日本肝臓学会西部会. 福岡, 2017.11.30.
- 55) <講演>血液製剤とC型肝炎ウイルス感染.
八橋弘.
国立国際医療研究センター主催 第3回輸血関連セミナー. 東京, 2017.12.5.
- 56) <講演>B型肝炎からの卒業への道のり.
八橋弘.
特別講演, みやぎ県北B型肝炎治療セミナー. 石巻, 2017.12.14.

学会発表・研究会開催・座長等

F-a：学会・研究会座長<国際学会> (5)

- 1) <Moderator> Yatsunami H.
Session2 : Treatment as Prevention of Liver Cirrhosis from Etiological Aspect, The 26th Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver (APASL 2017). Shanghai, 2017.2.16.
- 2) <Chair> Yatsunami H.
Session 4 : HBV, The Asian Pacific Association for the Study of the Liver Single Topic Conference (APASL STC) 2017 Nagasaki. sasebo, 2017.4.11.
- 3) <Chair> Yatsunami H.
Special Lecture: HCC and Gene, The Asian Pacific Association for the Study of the Liver Single Topic Conference (APASL STC) 2017 Nagasaki. sasebo, 2017.4.11.
- 4) <Chair> Yatsunami H.
Morning Seminar 4 ; Sponsored by LSI Medience Corporation, The Asian Pacific Association for the Study of the Liver Single Topic Conference (APASL STC) 2017 Nagasaki. sasebo, 2017.4.11.
- 5) <Chair> Kuroki T.
Oral Presentation -Pancreas, 6th Asian Pacific Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery. Yokohama, 2017.6.7.

F-b：学会・研究会座長<国内学会> (43)

- 1) <座長> 八橋弘.
Discussion, Expert Meeting Nagasaki. 長崎, 2017.1.12.
- 2) <コメンテーター>
黒木保.
特別企画：日本肝胆膵外科学会高度技能専門医を目指して, 第38回九州肝臓外科研究会. 福岡, 2017.1.28.
- 3) <司会> 藤岡正樹.
教育講演；山口県立総合医療センター在任中に経験した手足先天異常の検討, 長崎手の外科学会. 長崎, 2017.2.7.
- 4) <座長> 小森敦正.
一般・特集演題：脂肪肝等からの発癌症例・新規DAA製剤の所見, 第45回福岡肝疾患・感染症治療研究会. 小倉, 2017.2.25.
- 5) <座長> 八橋弘.
一般講演③, 第7回DAA研究会. 宮崎, 2017.3.4.
- 6) <司会> 前田茂人.
ランチョンセミナー2：観察研究における群間比較ーデータベース研究を中心にー. 第14回日本乳癌学会九州地方会. 福岡, 2017.3.4.

- 7) <座長>八橋弘.
特別レクチャー：肝臓研究のマイブーム -肝線維化マーカーとサルコペニア-。
第10回長崎「肝と栄養を考える会」。長崎, 2017.03.09.
- 8) <座長>八橋弘.
一般演題 I：当院におけるリファキシミンの使用成績, 肝性脳症の新時代～リフキシマ錠 発売記念講演会～. 福岡, 2017.3.18.
- 9) <座長>八橋弘.
プレナリーセッション：肝 2, 第103回日本消化器病学会総会. 東京, 2017.4.21.
- 10) <座長>八橋弘.
ランチョンセミナー30；第103回日本消化器病学会総会. 東京, 2017.4.22.
- 11) <司会>黒木保.
サージカルフォーラム(23)：膵臓IPMN・pNET, 第117回日本外科学会定期学術集会. 横浜,
2017.4.27.
- 12) <座長>前田茂人.
一般演題 (ポスター)：甲状腺 8, 第29回日本内分泌外科学会総会. 神戸, 2017.5.18.
- 13) <座長>谷口堅.
一般演題：胃・十二指腸 5, 第109回日本消化器病学会九州支部例会・第103回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 福岡, 2017.5.20.
- 14) <座長>橋元悟.
一般演題：肝 4, 第109回日本消化器病学会九州支部例会・第103回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 福岡, 2017.5.20.
- 15) <司会>八橋弘.
ランチョンセミナー 9：C型肝炎の最新治療～ジメンスーの治療経験を含めて～,
第109回日本消化器病学会九州支部例会・第103回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 福岡,
2017.5.20.
- 16) <コメンテーター>前田茂人.
乳腺・甲状腺, 第53回九州内分泌外科学会. 熊本, 2017.5.26.
- 17) <座長>八橋弘.
一般講演. 特別講演. 県央地区Liver Forum. 大村, 2017.5.31.
- 18) <司会>八橋弘.
イブニングセミナー 3；Perspectives of Hepatitis B Virus Markers for the Management of
Chronic Hepatitis B, 第53回日本肝臓学会総会. 広島, 2017.6.8.
- 19) <司会>八橋弘.
特別企画 1：International Session: Recent Advances in Hepatitis Research. 第53回日本肝臓
学会総会. 広島, 2017.6.8.
- 20) <司会>八橋弘.
ワークショップ 9：肝疾患における新規バイオマーカーの探索, 第53回日本肝臓学会総会. 広島,
2017.6.9.

- 21) <司会>八橋弘.
特別講演：B型肝炎の治療戦略～ウイルス駆除と発癌抑止を目指して～. 第12回長崎B型肝炎を考
える会. 長崎, 2017.6.22.
- 22) <座長>八橋弘.
これからのB型肝炎治療～ベムリディを迎えた今～, New Horizon in Hepatitis 福岡. 福岡,
2017.7.8.
- 23) <座長>前田茂人.
ポスター討議50；予後因子3, 第25回日本乳癌学会学術総会. 福岡, 2017.7.14.
- 24) <座長>黒木保.
一般演題：膵癌, 第48回日本膵臓学会大会. 京都, 2017.7.15.
- 25) <座長>八橋弘.
一般講演④：演題7-8, 第8回DAA研究会. 仙台, 2017.7.15.
- 26) <座長>黒木保.
一般演題（ミニオーラル）：総論：総合3, 第72回日本消化器外科学会総会. 金沢, 2017.7.21.
- 27) <座長>黒木保.
一般演題：膵良性疾患, 第44回日本膵切研究会. 横浜, 2017.8.26.
- 28) <座長>山崎一美.
ポスターセッション, 第15回日本病院総合診療医学会学術総会. 千葉, 2017.9.15.
- 29) <司会>阿比留正剛.
テーマ；生活習慣病と肝臓病, 一般社団法人日本肝臓学会主催 肝がん撲滅運動 市民公開講座.
大村, 2017.9.21.
- 30) <座長>黒木保.
ポスター1；胆管細胞癌, 第53回日本胆道学会学術集会. 山形, 2017.9.28.
- 31) <座長>八橋弘.
Program1；C型肝炎撲滅に向けた取り組み～院内/地域連携によるHCV抗体陽性患者紹介～,
第2回長崎肝援隊フォーラム. 長崎, 2017.10.5.
- 32) <司会>八橋弘.
ワークショップ5；B型肝炎治療の進歩, 第21回日本肝臓学会大会, 第59回日本消化器病学会大会
(JDDW2017). 福岡, 2017.10.12.
- 33) <座長>八橋弘.
各施設より評価データ発表, 第5回B型肝炎ウイルスマーカー研究会. 福岡, 2017.10.13.
- 34) <座長>八橋弘.
一般講演；当院におけるIFNフリー治療の現状～IFNフリー治療成績及びLDLについて～,
Expert Meeting in Nagasaki. 長崎, 2017.10.17.
- 35) <座長>前田茂人.
一般演題（ポスター）：良性疾患②, 第50回日本甲状腺外科学会学術集会. 福島, 2017.10.26.
- 36) <座長>八橋弘.
口演79；国際医療協力, 第71回国立病院総合医学会. 高松, 2017.11.11.

- 37) <座長>前田茂人.
講演 2, 持続型G-CSF製剤『ジーラスタ』講演会in 長崎. 長崎, 2017.11.17.
- 38) <座長>山崎一美.
一般演題; 肝 3, 第110回日本消化器病学会九州支部例会. 那覇, 2017.11.18.
- 39) <座長>伊東正博.
要望講演 3; 甲状腺腫瘍WHO分類2017-改定点と新概念-. 第56回日本臨床細胞学会秋季大会.
福岡, 2017.11.18-19.
- 40) <司会>八橋弘.
シンポジウム 1; B型肝炎に対する治療の成果と今後の課題, 第42回日本肝臓学会西部会. 福岡,
2017.11.30.
- 41) <座長>山崎一美.
一般演題12; C型肝炎 5, 第42回日本肝臓学会西部会. 福岡, 2017.11.30.
- 42) <座長>小森敦正.
一般演題48; 自己免疫性肝疾患 3, 第42回日本肝臓学会西部会. 福岡, 2017.12.1.
- 43) <司会>八橋弘.
ランチョンセミナー; ポスト肝炎ウイルス時代の新たなる課題と今後の展望, 日本消化器病学会関
東支部 第347回例会. 東京, 2017.12.2.